

令和 5 年度

契 第 560 号

(ゼロ債務) 文化会館 ホール東側便所改修 (建築) 工事設計書

大垣市 室本町 地内

大 垣 市

123

# 工事名称 (ゼロ債務)文化会館 文化ホール東側便所改修(建築)工事

図面番号	図面名称	縮尺
001	特記仕様書(1)	—
002	特記仕様書(2)	—
003	特記仕様書(3)	—
004	特記仕様書(4)	—
005	特記仕様書(5)	—
006	特記仕様書(6)	—
007	特記仕様書(7)	—
008	配置図兼仮設計画図・付近見取図・工事スケジュール表・工事区分表	1/1,000
009	1階平面図兼仮設計画図	1/400
010	内部仕上表	—
011	改修前後 平面図	1/80
012	改修前後 天井伏図	1/80
013	床伏図(土間スラブ撤去範囲図)	1/50
014	改修前後 断面図	
015	改修前 展開図①	1/100
016	改修前 展開図②	1/100
017	改修前 展開図③	1/100
018	改修前 展開図④	1/100
019	改修後 展開図①	1/100
020	改修後 展開図②	1/100
021	改修後 展開図③	1/100
022	改修後 展開図④	1/100
023	改修後 展開図⑤	1/100
024	サイン計画図	1/5、1/100
025	建具表・部分詳細図	1/60





1 一般共通事項	54 引渡し	工事目的物完成による引き渡しに当たっては、施工者は社内検査を行い、合格後、諸官公署、建築主の竣工検査を受け、必要書類、物品と共に引き渡し、その後の適正な運用に協力する。	2 仮設工事	7 監督員事務所、受注者事務所等	1) 監督員事務所の設置 ・設ける ○設計ない ―(ただし現場で行う定例打合せのために、1-10人程度が参加できる場所及び机・椅子)― の確保は本工事とする。また、打合せはWEBで行う可能性も有る。対応できる環境を用意すること。	5 鉄筋工事	5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網を含む)	(5.3.5)	7 外壁改修工事(共通事項)	1 施工数量調査	[1.5.2, 3]
	55 保証	次の保証をする。 (1) 工事完成引き渡し後、定められた保証期間内に、材料の不良又は施工の不備に起因する故障又は破損を生じた場合は、速やかに修理又は交換を行う。その費用は施工者の負担とする。 (2) 工事完成引き渡し後、定められた保証期間内に、監督職員立ち会いの下で、工事全般にわたり再検査を行う。この検査の結果発見された材料の不良又は施工の不備に起因する故障又は破損については、監督職員と協議の上、その処置を行う。 その費用は、施工者の負担とする。 かし担保期間 建築：2年、防水保証：10年、金属屋根：年		1 埋戻し及び盛土	埋戻し及び盛土の種類 ・ A 種 適用場所 ( ) ・ B 種 適用場所 ( 倉庫基礎 ) ・ C 種 適用場所 ( ) 土質 ( ) 受渡場所 ( ) ・ D 種 (細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。) 適用場所 ( )		5.3.5) (5.5.2)	2 可とう性エポキシ樹脂		[4.2.2]	
				2 山留めの存置	存置範囲(※図示)		(5.3.5) (5.5.2)	3 パテ状エポキシ樹脂		[4.2.2]	
2 仮設工事	1 足場その他	(2.2.4) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 内部足場 ○設置する (※ 脚立、足場板等 ) ○設置しない 外部足場 ○設置する ○設置しない 防護シート ○設置する ○設置しない ・材料、撤去材等の運搬方法 種別( A 種 B 種 C 種 D 種 E 種 ) C種：利用可能なエレベーター ( )	3 土工事	1 埋戻し及び盛土	(3.2.3)	6 機械式継手	(5.3.5) (5.5.2)	4 エポキシ樹脂モルタル	[4.2.2]		
	2 既存部分の養生	[2.3.1] 1) 養生の方法等 ○ 既存部分 養生の方法 (※ビニルシート・合板・プラスチック板) ○ 既存家具、既存設備等 養生の方法 (※ビニルシート等 ) ○ 既存ブラインド、カーテン等 養生の方法 (※ビニルシート等 ) ○ 保管場所 (・図示 ) ○ 備品、机、椅子等の移動 (・図示 ・ 館内の別室) (2人目)	2 地業工事	2 山留めの存置	(3.3.3)	7 溶接継手	(5.3.5) (5.5.3)	5 ポリマーセメントモルタル	[4.2.2]		
	3 仮設間仕切	[2.3.2][表 2.3.1] 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ○図示 ・設置しない 2) 仮設間仕切りの種類と材質等	4 地業工事	3 建設汚泥の処理	※再生資源化施設へ搬出 (・(杭基礎盛土) 本工事で建設汚泥が発生する場合は「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」の策定について(国営計第36号 平成18年6月12日)、「建設汚泥の再生利用に関する実施要領について(国営計第38号 平成18年6月12日)」に基づき建設汚泥の再生利用を行う。 再生利用の種類 ※埋戻し及び盛土材として利用 再生処理方法 ※脱水処理 ・安定処理(セメント、石灰による改良処理) 要求品質 「建設汚泥処理土利用技術基準について(国営計第41号 平成18年6月12日)」表-4 建設汚泥処理土の適用用途標準における下記区分とする。 ※第3種処理土 ・汚泥処理土	7 溶接継手の工法	(5.5.3)	6 ポリマーセメントスラリー	[4.2.2]		
	4 仮設計画書	1) 受注者等は工事の着手に先立ち、又は着手後速やかに仮設計画書を作成し、監督員に提出する。	1 砂利地業	4 地業工事	1 埋戻し及び盛土	(4.6.2, 3)	8 各部配筋	(5.3.7)	7 既製調合モルタル	[4.2.2]	
5 工事用電力及び上下水道	1) 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償) 2) 工事用上下水道 構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)	2 捨コンクリート地業	5 鉄筋工事	2 山留めの存置	(4.6.4) (6.14.1)	9 圧接完了後の試験	(5.4.9)	7-2 外壁改修工事その他工法 ※改修構法以外			
6 敷地の状況確認及び補強	1) 受注者等は工事の着手後、敷地内及び敷地周辺について現地調査を行い、仮設計画書などに反映させる。現地調査は、工事によって影響を受ける可能性のある周辺道路、隣接の建築物、樹木及び上下水道・ガス・電気・通信など地下埋設物に重点を置き、その状況を正確に調査する。 2) 敷地について次の要領により測量を行い、仮設計画書などに反映させる。 a. 隣地並びに道路との境界は、隣地関係者、道路管理者及び管理者の立会いのもとに確認し、記録書を作成する。 b. 敷地の高低を測量し、道路との高さ関係・排水勾配などについて設計図と照合する。	3 床下防湿層	5 鉄筋工事	3 建設汚泥の処理	(4.6.2, 5)	抜取試験 (5.4.9) ○超音波探傷試験 ・引張試験	(5.4.9)	1) 地下処理 2) モルタル・刷毛塗り 3) 吹付け(水性/油性含む) (下記地下処理表②と④と⑦の施工部分の7は無しとする。) 地下処理仕様 ①一般外壁部分 ②表面劣化部分 ③鉄筋部分 ④地下劣化部分 ⑤ひび割れ部分 ⑥モルタル浮き部分 ⑦換み劣化部分			
設計監理	大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL	1) 鉄筋の種類		3 建設汚泥の処理	(5.2.1)	1 ① コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度 ○普通コンクリート (6.2.1~4) 設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ(cm) 適用箇所 ・18 ・15 ・外構、その他 ○21 ○15 ○土間スラブ、基礎、基礎梁 ・21 ・18 ・柱、梁、スラブ、壁 ・軽量コンクリート (6.2.1~3)(6.10.1~2) 設計基準強度F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) スラブ(cm) 適用箇所 ・ ・	(6.2.1~4) (6.10.1, 2)	2) 既製調合モルタル			
工事名称	(ゼロ債務)文化会館 ホール東側便所改修(建築)工事	2) 溶接金網		4 地業改良工法	(5.2.2)	2 ② コンクリートの種類 種類 (6.2.1) ※ I 類 (JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・ II 類 (JIS A 5308に適合したコンクリート)	(6.2.1)	3) 既製調合モルタル			
図名	特記仕様書(3)	3) 鉄筋の継手		5 鉄筋改良工法	(5.2.1)	3) セメント 種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする) 使用部位 ( ) ・高炉セメントB種 使用部位 ( ) ・フライアッシュセメントB種 使用部位 ( )	(6.3.1)	4) 既製調合モルタル			
縮尺	-	4) 鉄筋の定着長さ		6 地盤改良工法	(5.2.1)	4) 骨材 アルカリシリカ反応による区分 (6.3.1) ※ A B	(6.3.1)	5) 既製調合モルタル			
図番	003					5) 混和材料 ・混和剤 (6.3.1) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(i)による ・混和材 (6.3.1) 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(ii)による	(6.3.1)	6) 既製調合モルタル			

外壁改修は、特記無き限り次の仕様による。  
1) 地下処理 2) モルタル・刷毛塗り 3) 吹付け(水性/油性含む)  
(下記地下処理表②と④と⑦の施工部分の7は無しとする。)

工事種目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
不陸調整(防錆へト)							
不陸調整(コンクリート)							
ハンダー							
はつり							
削孔							
錆落とし(溶接補強)							
清掃							
高圧水洗浄							
7/8リ回復処理							
中性化防止処理							
防錆処理							
プライマー塗布及びシーリング							
7/8リコンクリート注入及びセメントB種							
埋め戻し							
7/8リコンクリート塗布(1回目)							
7/8リ張付							
7/8リ打込(頭部処理)							
7/8リコンクリート塗布(2回目)							
7/8リ塗布							
コンクリート下塗り							
7/8リ張付							
7/8リ打込							
コンクリート下塗り							

※一般外壁部分及び表面劣化部分清掃後は、高圧水にて洗浄する。  
※「ハンダー」工法は7/8リ樹脂注入とする。  
※7/8リ 4mm×40mm・注入量は30g/穴 程度とし、4本/m2、12本/m2 又は 4本/mとする。  
※鉄筋部分は、はつり後に錆落としすること。  
※外壁改修工事は7/8リ工法・7/8リ工法・及び7/8リ工法同等以上とする。  
各工法の詳細については日本建築センター審査証明の内容を参考のこと。  
※外壁、庇軒裏等は改修施工管理者により打撃調査・マキンをを行い、補修範囲を確定し、市監督員の承諾を得た後に施工すること。  
※外壁改修に支障となる空調室外機の脱着、移設は別途設備工事にて行う。  
※空調機は、工事期間中も使用できるように、南面の既設室外機11機を本工事の足場部分に仮移設する。  
※上記の移設部分の足場は幅1200mmを見込む。  
※学校夏休み終了後の工事期間については、室内の採光及び換気が確保できるよう、工事区画ごとに施工時期を調整し、室内の居住環境保全に努めること。  
※外壁改修工法は保証書(工事検査終了後10年以上)を提出すること。  
※地下補修、及び仕上げ工事については市監督員の指示する工程毎に市監督員の検査を受けること。

8 防水改修工事	1 施工数量調査 [1.5.2、3]	調査範囲 ・ 図示 ・ 防水改修範囲 調査方法 ・ 図示 ・ 目視 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示 ・ 現況復旧 調査報告書 提出部数： ・ 2部			
	2 降雨等に対する養生方法（とい共） [3.1.3]	※改修標準仕様書3.1.3(e) (1)～(3)による。			
	3 既存防水の処理 [3.2.3、4、6]	既存保護層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示 ・ テラス） ・ 行わない 既存防水層の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示） ・ 行わない 露出防水層表面の仕上塗装除去 ・ 行う（・M4AS ・M4AS1 ・M4C ・M4D1 ・L4X） ・ 行わない			
	4 既存防水層の下地補修 [3.2.6]	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・ 図示 POS工法及びPOSI工法（機械式固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置 ※改修標準仕様書3.2.6(d) (3) (vii)①～③による			
	5 アスファルト防水 [3.3.2～5]	屋根保護防水 防水層の種類			
	工法 種別 施工箇所 断熱材 [G] 絶縁用シート 立上り部の保護				
	・P2P ・A-1 ※A-2 ・A-3 ・PIB ・B-1 ※B-2 ・B-3 ・P2A1 ※A1-1 ※A1-2 ・A1-3 ・PIB1 ・BI-1 ・TIB1 ※BI-2 BI-3	図示	断熱材 [G] (材質) ※JIS A 9521による押出法※リステルフォーム断熱材3種bA(※粘着付き)又はJIS A 9511によるA種押出法※リステルフォーム保温材の保温板3種b(※粘着あり) (厚さ) ・ 25mm	※※リステルフォーム 厚さ 0.15mm以上 ・ 乾式保護材 ・コンクリート 押え ・れんがが 押え	
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ ※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による 平場の保護コンクリートの厚さ こて仕上げ ※水下 80mm以上 床タイル張り ※水下 60mm以上				
	・乾式保護材 産業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。 金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものの。 (品質・性能) 建築材料等品質性能表による (試験方法) 建築材料等品質性能表による				
	屋根露出防水 防水層の種類				
	工法 種別 施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
	・M4C ・M3D ・POP ・POD1 ・M3D1 ・M4D1	※C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4 ※D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4 ※D1-1 ※D1-2	図示	・製造所の指定による ・製造所の指定による	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
	(材質) ※JIS A 9521による硬質ウレタン断熱材2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの又はJIS A 9511によるA種硬質ウレタン断熱材の保温板2種1号若しくは2号で透湿係数を除く規格に適合するもの (厚さ) ・ 25mm				脱気装置の種類及び設置数量 ※アスファルトルーフィング類製造所の指定による ・脱気装置の種類： ・ 設置数量： 個/m <sup>2</sup> 屋根露出防水絶縁断熱工法の場合、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 位置 ※図示
	屋内防水				
	工法 種別 施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
	・PIE ・P2E	・E-1 ※E-2			保護層 ・設ける ・設けない
	押え金物の材質及び形状寸法 ※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ※図示				

8 防水改修工事	6 塗膜防水 [3.6.2、3]	工法 種別 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 高日射反射率 防水の適用[G] 備考				
		・POX ※X-1 ・X-2 ・L4X ※X-1 ※X-2 ・PIY ※Y-2 ・P2Y ※Y-2	図示 ・製造所の指定による ・製造所の指定による ・製造所の指定による ・製造所の指定による ・製造所の指定による	改修用ドレン ・設ける ・設けない 脱気装置 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない 保護層 ・設ける ・設けない		
		脱気装置の種類及び設置数量 ※主材製造所の指定による ・脱気装置の種類： ・ 設置数量： 個/m <sup>2</sup>				
		7 シーリング [3.7.2、3、7、8]	シーリング改修工法の種類 ・シーリング充填工法 ・シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ボンドブレイカー張り ・ 適用する ・ 適用しない エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない			
		8 とい [3.8.2、3]	といの材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。			
9 建具改修工事	7 シーリング [3.7.2、3、7、8]	工法 種別 施工箇所	断熱材 [G]	仕上塗料 種類 使用量	高日射反射率 防水の適用[G]	備考
		吹付け部 その他		PU-2 MS-2		シーリング材の種類（記号）
		シーリング材の目寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(a) (1)～(3)による				
		8 とい [3.8.2、3]	といの材種 ・ 配管用鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ ルーフドレン シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。			
		9 アルミニウム製 笠木 [3.9.2、3]	種類 ・ オープン形式（ ・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形） ・ 板材折曲げ形（ ・ オープン形式 ・ シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※2.0mm ・ mm） 表面処理 種別（ ）種 皮膜等の種類（※標準仕様書表14.2.1による） 着色（ ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー） 既存笠木等の撤去 ・ 行う（範囲 ・ 図示） ・ 行わない			
	9 ①改修工法 [5.1.3]	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	
		・アルミニウム製建具 ・樹脂製建具 ・鋼製 ・ 外部 建具 ・ 内部 ○鋼製軽量建具 ・ステンレス製建具	・	・	・建具表による ・建具表による ・建具表による ・建具表による ○建具表による ・建具表による	
	2 防火戸 [5.1.4]	新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示				
	3 見本の製作等 [5.1.5]	建具見本の製作 ・ 行う（建具符号： ） ・ 行わない 建具見本の程度 ・ 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する ・ 納まり等がわかる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・ 行う（建具符号： ） ・ 行わない				
	4 防犯建物部品 [5.1.7]	・適用する（ ） 適用箇所（ ・ 建具表による ） ・適用しない				

9 建具改修工事	5 アルミニウム製建具 [5.2.2～5] [表 5.2.2]	性能等級 外部に面する建具 ・ A種（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ B種（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ C種（建具符号： ・ 建具表による ・ ） 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 枠の見込み寸法 ・ 建具表による 表面処理 外部に面する建具 ・ B-1種 ・ B-2種 皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による） 着色（ ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー） 屋内の建具 ・ C-1種 ・ C-2種 皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による） 着色（ ・ アンバー ・ ブロンズ ・ ブラック系 ・ ステンカラー） 結露水の処理方法 ・ 図示 水切り板、ぜん板 ・ 図示 網戸等 [5.2.3]	
		種類 材種 線径 網目 ・防虫網 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製 ・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 1.5mm 網目寸法15mm	
		6 樹脂製建具 [5.2.2] [5.3.2～5]	性能等級 外部に面する建具 ・ A種（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ B種（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ C種（建具符号： ・ 建具表による ・ ） 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 枠の見込み寸法 ・ 建具表による 表面色 ※標準色 ・ 特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス
		7 鋼製建具 [5.2.2] [5.4.2～4] [表 5.4.2]	性能等級 簡易気密型ドアセット ・ 適用する （建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ S-5（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ S-6（建具符号： ・ 建具表による ・ ） 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 鋼板 材料 めっき付着量 厚さ ・ JIS G 3302 ※Z12又はF12 ※標準仕様書表 5.4.2による ・ JIS G 3317 (溶融亜鉛-5% アルミニウム合金めっき鋼板) ※Y08
		8 鋼製軽量建具 [5.2.2] [5.5.2～4]	性能等級 簡易気密型ドアセット ・ 適用する （建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ○改修標準仕様書表5.5.1による 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板

9 建具改修工事	9 ステンレス製建具 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5]	性能等級 簡易気密型ドアセット ・ 適用する （建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ 適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・ S-4（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ S-5（建具符号： ・ 建具表による ・ ） ・ S-6（建具符号： ・ 建具表による ・ ） 防音ドアセット、防音サッシ 遮音性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 断熱ドアセット、断熱サッシ [G] 断熱性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 耐震ドアセット 面内変形追随性の等級（ ・ ） （建具符号： ・ 建具表による ・ ） 鋼板（屋外） ※SUS430JIL、SUS443J1、SUS304、 鋼板（屋内） ※SUS430、SUS430JIL、SUS443J1、SUS304 表面仕上げ ※H L ・ 鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ			
		⑩建具用金物 [5.7.2、3]	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.1による 樹脂製建具に使用する丁香 ※改修標準仕様書表5.7.3による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ・ 建具表による ・ 錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本線り錠】 (品質) 工事建築材料等品質性能表による (性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による ・錠前類 【レバーハンドル】 (性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による ・クローザ類 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による		
		⑪鍵 [5.7.4]	マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵 ※各室3本1組 鍵箱 ・ 無 ・ 有（ ）		
		12 自動ドア開閉装置 [5.8.2、3]	自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止 ・SSLD-1 ※改修標準仕様書表5.8.1による ・SSLD-2 ・DSL-1 ・DSL-2 ・SWD-1 ※改修標準仕様書表5.8.2による ・SWD-2 ・図示	・マットスイッチ ・光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない
		13 自閉式上り引戸装置 [5.9.3]	性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による		
	14 重量シャッター [5.10.2、3]	シャッターの種類 ・ 管理用シャッター 耐風圧強度（ ）N/m <sup>2</sup> ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度（ ）N/m <sup>2</sup> ・ 屋内用防火シャッター ・ 屋内用防煙シャッター			
	15 軽量シャッター [5.11.2～4]	開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※改修標準仕様書5.10.2(d) (4) (i) かつ (iii) ・改修標準仕様書5.10.2(d) (4) (ii) かつ (iii) 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12又はF12			
	16 オーバーヘッド ドア [5.12.2、3]	セクション材料 耐風圧 開閉方式 収納形式 ガイドレールの材質 による区分 区分 (Pa) による区分 による区分 ※ステールタイプ ・ 125 ※バランス式 ・ スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・ アルミニウムタイプ ・ 100 ・ チェーン式 ・ ローヘッド形 めっき鋼板 ・ ファイバーグラス ・ 75 ・ 電動式 ・ ハイリフト形 ・ ステンレス タイプ ・ 50 ・ パーチカル形 鋼板			

17 ガラス [3.7] [5.13.2~4] [表5.13.1]
・合わせガラス
・強化ガラス
・熱線吸収板ガラス
・複層ガラス
・熱線反射ガラス
・倍強度ガラス

18 ガラスブロック [5.13.5]
表面形状
・正方形
・長方形

曲面積みの曲率半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。
骨格 材質 ※ステンレス鋼(SUS304)
化粧目地モルタルの色
金属製化粧カバー

19 ガラス用フィルム
名称
・ガラス飛散防止フィルム
・日射調整フィルム
品質 JIS A 5759による

10 内装改修工事
①改修範囲 [6.1.3]
②既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]
③既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]

4 木下地等の表面仕上げ [6.5.1]
表面仕上げの種類
・A種
・B種
・C種

5 製材 [6.5.2]
「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材
「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材

「製材の日本農林規格」による広葉樹製材
「製材の日本農林規格」以外の製材

6 造作用集成材 [6.5.2]
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

10 内装改修工事
7 造作用単板積層材 [6.5.2]
8 補強材・床張り用合板等 [6.5.2]
9 接着剤 [6.5.3, 4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4, 5]
10 防腐・防蟻処理 [6.5.5]

10 内装改修工事
11 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]
⑫ 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]
⑬ ビニル床シート [6.8.2, 3]
14 ビニル床タイル [6.8.2]
⑮ ビニル幅木 [6.8.2]
16 ゴム床タイル [6.8.2]
17 カーベツト敷き [6.9.3, 4] [表6.9.1]

10 内装改修工事
18 合成樹脂塗床
19 フローリング張り
20 畳敷き
設計監理 大垣市都市計画部建築課

10 内装改修工事
21 セッコウボード
22 壁紙張り
23 モルタル塗り
[6.13.2.3]
[6.10.2~3]
[6.11.2~6]
[6.14.2~3]
[6.15.3.6]

10 内装改修工事
24 タイル張り
11 塗装改修工事
① 材料
② 下地調整
3 錆止め塗料塗り
[6.16.2~4]
[6.17.2~3]
[7.1.3]
[7.2.1~7]
[7.3.2.3]

11 塗装改修工事
④ 塗装
[7.4.2~7.15.2]
[9.1.1.3~5]
[9.1.1.3~5]
測定方法
図名 特記仕様書(6)
縮尺 ー
図番 006



アスベスト含有建材の処理  
 ・アスベスト含有吹付け材の除去  
 除去対象範囲 ・ 図示 ・  
 除去工法 ※9.1.3 (b) (1) による  
 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止  
 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化  
 除去したアスベスト含有吹付け材等の処分  
 ・埋立処分(管理型最終処分場)  
 ・中間処理(熔融施設)

・アスベスト含有保温材の除去  
 除去対象範囲 ・ 図示  
 除去したアスベスト含有保温材の処分  
 ・埋立処分(管理型最終処分場)  
 ・中間処理(熔融施設)

○アスベスト含有成型板の除去  
 除去対象範囲 ○図示 ・ 仕上げ表  
 除去したアスベスト含有成形板の処分  
 ○アスベスト含有せこうボード  
 ※埋立処分(管理型最終処分場)  
 ○アスベスト含有せこうボードを除くアスベスト含有成形板  
 ○埋立処分(安定型最終処分場)  
 ・中間処理(熔融施設)

・本工事は、工事範囲の既設建材にアスベスト含有がないことが明らかであるため、大気汚染防止法に基づく事前調査は、対象外とする。

○その他 環境配慮工事特記事項  
 受注者は、大気汚染防止法・同時施行令・同時施行規則、労働安全衛生法・同時施行令、労働安全規則、石綿障害予防規則及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律・同時施行令・同時施行規則等を遵守し、万全な安全・衛生体制を確保し、施工すること。  
 なお、以下の項目について ・印の付いたものを適用する。

1) 事前調査  
 ○書面調査  
 ○目視調査(建築物の着工日が平成18年9月1日以降である場合を除く。)  
 ○分析調査(書面調査及び目視調査により石綿含有の有無が把握できない場合。)  
 ・調査結果確認  
 ・石綿含有建材 【  
 ○石綿含有みなし建材【図006参照 ※分析検体数7  
 ※石綿含有みなし建材として積算している建材については、分析調査の結果により石綿の含有が認められない場合は、契約金額の減額対象とする。  
 ※・外壁吹付け塗材(下地共)にアスベストが混入されていた場合、業産機付きの低騒音・低振動のD形を使用し、足場の壁つなぎのフックを打設すること。また、穿孔部は放水等で湿潤し、足場廻りは隔離H-2重張りで養生しておくこと。

2) 事前調査資格者(令和5年10月1日以降義務付け)  
 ○調査者は以下のいずれかの資格を有する者とする。  
 ①特定建築物石綿含有建材調査者  
 ②一般建築物石綿含有建材調査者  
 ③令和5年9月までに日本アスベスト調査診断協会に登録された者  
 ④一戸建て等石綿含有建材調査者(一戸建て住宅や共同住宅の住戸の内部のみ調査可能)  
 ※石綿含有建材の種類が多岐に亘るような大規模建築物又は改修等を繰り返しており石綿含有建材の特定が難しい建築物については、特定建築物石綿含有建材調査者又は一定の実地経験を積んだ一般建築物石綿含有建材調査者が事前調査を行うこと。

3) 事前調査報告  
 岐阜県知事及び所轄労働基準監督署長へ報告を行うこと。

4) 事前調査実施期間  
 請負契約締結日～  
 ※事前調査期間については、現場代理人の常駐及び主任技術者又は監理技術者の現場工事への専任を要しない。

5) 特定粉じん排出等作業にかかる掲示  
 本工事が大気汚染防止法に規定する特定工事に該当するか否かについて、297mm×420mm以上の掲示板にて工事表示板と併せて掲示し、特定建築材料に関する事前調査結果等を記載すること。

施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重(N)	表面仕上材	備考
事務室	置敷式・支柱調整式	500×500	50	1.0G・0.6G	3000・5000	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	

※5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリースペースフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。

寸法精度  
 ※標準仕様書20.2.2(b)(5)(i)～(iii)による  
 厚さ ±0.5mm  
 平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下  
 図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下

表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による。  
 構成材の材質 アルミニウム製 ・鋼製(仕上げ: )  
 スロープ及びボウダー 製造所の仕様による ・ 図示  
 配線用取り出しパネル  
 フリースペースフロア全体面積に対する設置割合 ・20～30パーセント  
 配線取り出し開口 ・パネル1枚につき、40mm×80mm 程度の開口1箇所以上  
 ・ 図示  
 空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・なし ・あり(形式、施工箇所: 図示)

(性能)  
 建築材料等品質性能表による  
 (試験方法)  
 建築材料等品質性能表による

構造形式	構成基材の種類	総厚さ(mm)	表面仕上材		遮音性(dB/500Hz)	防火性能
			材質	厚さ(mm)		
・スライド式(内蔵)	スタッド	パネル	鋼板	0.6	・F55樹脂	・0
・スライド式(露出)				0.8	・焼付又は	・12
・スライド式					・F70樹脂	・20
・パネル式					・焼付	・28
・ 図示					・壁紙張り	・36

パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示 ・) ・なし  
 表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による  
 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

走行方向	操作方法	圧縮装置の操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上材		遮音性能(dB/500Hz)
				材質	パネル表面仕上げ	
・平行方向	移動式	・手動式	・アルミ製	・ 図示	・鋼板	・36未満
・二方向	移動式	・電動式	・心臓式	・ 図示	・焼付塗装	・36以上
		・部分電動式			・壁紙張り	

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による  
 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。

ハンガーレールの取付け下地の補強  
 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。  
 ・ 図示

(品質・性能及び試験方法)  
 建築材料等品質性能表による  
 間仕切の移動中に上層へ衝撃音が伝播しないよう防音対策を講じる。

表面材の材質	脚部		ドアエッジ
	形状	形状	材質
○メラミン樹脂系化粧板	※幅木タイプ	・標準	・アルミニウム製
・ポリエステル樹脂系化粧板	・	・R	・ステンレス製
		・ 図示	・表面材と同材

(品質・性能)  
 建築材料等品質性能表による  
 (試験方法)  
 建築材料等品質性能表による  
 パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

施工箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	・ 図示	・塩化ビニル製	・300×300
		・磁器質タイル	・300×300
		・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300
		・レジンコンクリート製	・300×300
屋外	・ 図示	・磁器質タイル	・300×300
		・磁器質タイル・せっ器質タイル	・300×300
		・レジンコンクリート製	・300×300

ブロックパターンは JIS T 9251 による

材種	幅(mm)	取付け工法	端部フラットエンド
・ステンレス製(SUS304)	・約35	※接着工法	・あり
・ビニルタイヤ入り		・埋込み工法	・ステン製
			・なし

・材種 ※ステンレスSUS304 ・真ちゅう製  
 ※原則として床仕上げの異なる部分の境界には、目地枠を設ける。

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
○集成材	○クリアラッカー	○35・45	スロープ	
・ステンレスパイプ	・HL			
・鋼製パイプ	・EP-G・SOP			
・ビニル製ハンドレール				
・ビニル製ハンドレール				

種類	寸法(mm)	色 彩		形 式	
		・黒板	※ 焼付け	※ 緑・黒	・平面・曲面
・ホワイトボード	ほうろう	白		・平面・曲面	・スクリーン付引分

取付箇所 ( ・ 図示 )  
 寸法(mm) ・ 図示 ・  
 厚さ(mm) ※5(耐食鏡 四方面取加工) ・

区分	材質	寸法・形状(mm)	厚さ(mm)	取付高さ(mm)	備考
・衝突防止表示(・両面・片面)	・ステンレス製	・30φ	・市販品	・ 図示	
・室名札	・ 図示	・ 図示	・ 図示	・ 図示	
・ピクトグラフ	・ 図示	・ 図示	・ 図示	・ 図示	
・とびら番号	・アクリル板	・ 図示	・5	・ 図示	
・庁舎案内板	・アクリル板	・ 図示	・5	・ 図示	
・各階案内板	・アクリル板	・ 図示	・5	・ 図示	

案内用図記号はJIS Z 8210による。  
 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・  
 印刷等の種類、取付け形式等は図示による。  
 サインのデザイン等は、受注者が提案し、監督員と協議の上、決定すること。  
 サイン製作前に原寸大原稿にて大きさを決定すること。

形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品名、特殊加工等	取付箇所	備考
・シングル	・片引き	・フランシヒだ		・ 図示	
・ダブル	・引分け	・箱ひだ、つまひだ		・ 図示	(暗幕)
	・電動	・アレンひだ、片ひだ			

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は 図 とする。  
 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上 ・

材 種 ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材  
 ・ ステンレス製

形 式 ・ シングル ・ ダブル ・ 図示  
 ・ 片引き  
 ・ 引分け  
 強さによる区分 ※10-90  
 仕上げ ※アルミイ  
 形状 ※角形

溝型×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・ 図示  
 材質 ・集成材(仕上げ:ゴム積層材 WP)  
 ・アルミニウム製 押出し型材(市販品)  
 表面処理  
 -O-1  
 ・O-2(・アンパー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)  
 皮膜等の種類 ※標準仕様書表14.2.11による  
 ・鋼製(仕上げ: )

1)階段手すりの仕様は下記による。  
 ※ 図示

材種	寸法	形式	外枠	内枠
※7kg以上	○450×450 ・600×600	○一桁形	○屋内外用	○顔縁付
		○密閉形	○屋内用	○目地付
		・気密形		・目地付

(品質・性能)  
 建築材料等品質性能表による  
 (試験方法)  
 建築材料等品質性能表による

点検口裏面に所定の用紙にて使用用途を明記する。  
 ・設計図による

材種	寸法	形式	備考
・アルミニウム製	・450×450	・一桁形	・屋内外用
・ステンレス製	・600×600	・密閉形	・屋内用
・鋼製			・鍵付き

(品質・性能)  
 建築材料等品質性能表による  
 (試験方法)  
 建築材料等品質性能表による

・本工事は、発注者指定方式の週休2日制確保工事とする。大垣市発注の週休2日制確保工事の仕様は別途要領(営繕工事)参照。

「建設業退職者共済制度」に加入し、加入の標識を工事場所に掲示すること。  
 ・本工事の下請業務及び建設資材等の購入において市内業者を活用するように努めること。  
 ・入札前に現場確認を行いたい場合は、大垣市総務部契約管理課契約課にその旨電話連絡を行うこと。  
 ・各仕様書にない工事関係様式については岐阜県建設工事共通仕様書に準拠すること。  
 ・工事表示板(900×1200 両面にカギ付)を貼付して設置する。  
 ・受注者の契約の相手となる下請負人の健康保険等加入義務等については、大垣市工事請負契約約款第7条の3の規定に依る。  
 ・受注者は、法定外の労災保険に付きなければならない。  
 一工事作業員は工事期間中一工事関係者と判別できるような腕章等を身につけること一  
 一(受注者及び下請けを含む)一  
 ・本工事は、大垣市の「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、「公共工事における統一の一斉休工(略称:まんなか制)」に取り組み対象工事である。  
 ・本工事は、「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、「公共工事における統一の一斉休工(略称:まんなか制)」に取り組み対象工事である。  
 なお、本取組は一斉休工や工程の調整を求めるものではない。  
 ・統一の一斉休工の実施状況について、発注者より確認やアンケートを求められた場合は、受注者はこれに協力するものとする。  
 ・対象工事は、工事着手日～工事の終期(契約工期末)までの期間において、令和5年9月2土曜日、第4土曜日、令和5年10月以降は毎週土曜日、一斉休工に積極的に工の実施日が変更となった場合は、別途、監督員より協議する。  
 ・再生資源利用(促進)計画書(現場掲示様式)を、工事現場の見やすい場所に掲示すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。  
 ※本工事は、週休2日制確保工事とする。使用時は休工対象とする。(丸みを含む)  
 ※作業実施は100日とする。  
 ※ホールに隣接する多目的便所について施設利用者は、休工日以外での使用を禁止すること。また、同計画をインターネットに公表するように努めること。

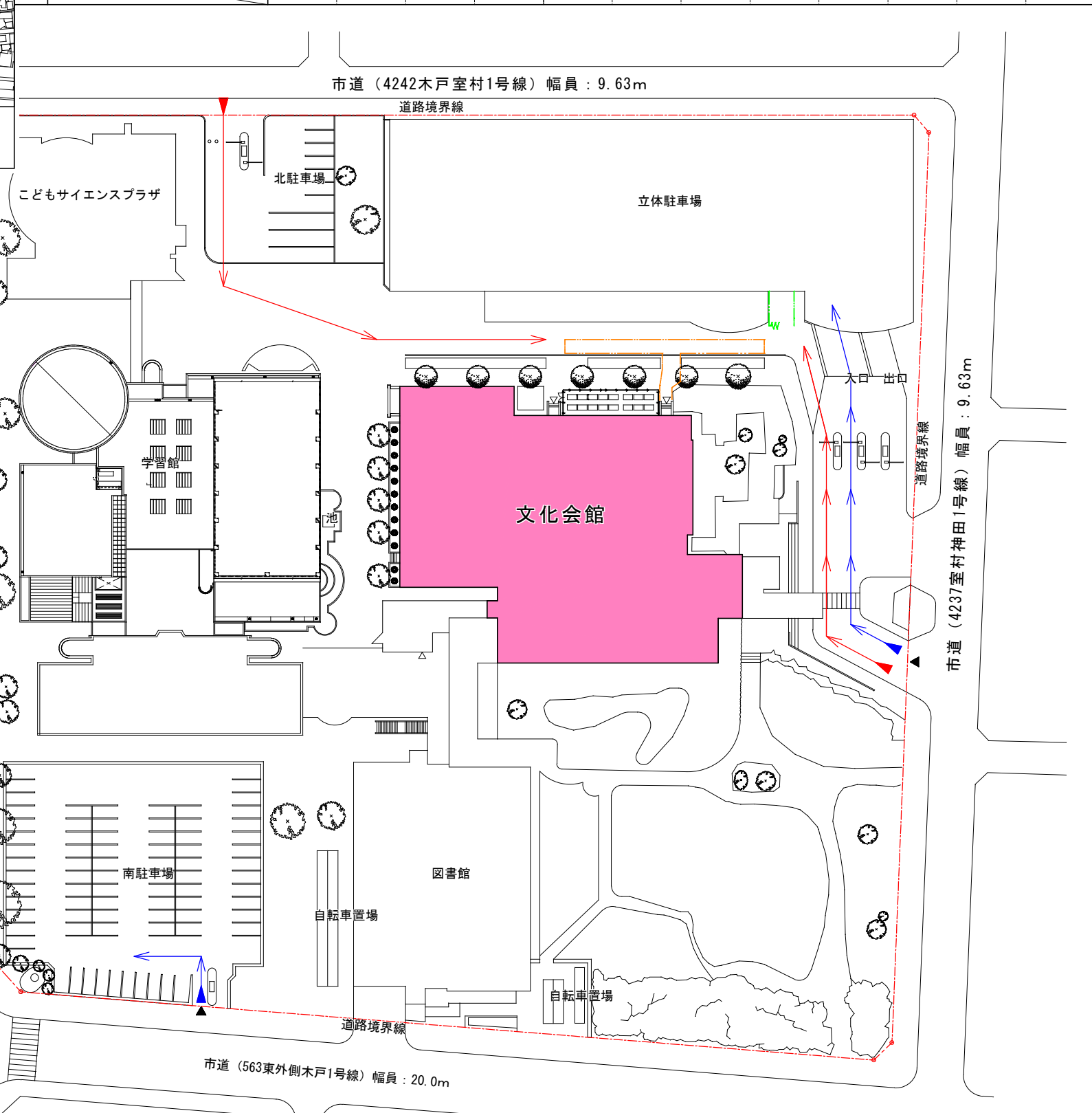
提出書類表		
項 目	部 数	
着工	1	事前調査報告書(周辺道路・水路・隣接民家等を調査し、現況写真を添付) ※調査の対象箇所は監督員と協議する
工事	1	★現場代理人・(専任)主任技術者・監理技術者補佐届・(専任/特例)監理技術者届 ※(専任)主任技術者・監理技術者補佐届は、資格要件のわかる書類添付 ※(専任/特例)監理技術者は、監理技術者有資格者証の写しを添付 ※各届出書に3ヶ月雇用のわかる書類(経歴書または健康保険証等の写し)を添付
時	1	★工程表(ネットワークと出来高予定を含む) ※契約後10日以内
	2	総合施工計画書 ※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を添付
	-	設計図 A4 製本(A3 2折) ※入札前の質疑応答書も入れる、また別途工事がある場合は全てまとめて提出
	1	各種保険証書等(設備工事:火災保険、組立保険または第三者損害補償責任保険) ※火災保険(建物内工事開始日～工期+14日)
	1	工事加付(コリス)の登録 ※契約後、変更契約後、及び工事完了後10日以内
	1	解体等工事に係る調査及び説明(大気汚染防止法第18条の15)
	1	休日取得計画書(大垣市発注の週休2日制確保モデル工事試行要領(営繕工事))
	2	工事に必要な官公署等への届出書類
工	2	★指示・承諾・協議・提出・報告書、打合せ記録
事	1	月間工程表、週間工程表 ※週間工程表には休日・夜間作業内容及び時間を明記
	2	施工図、施工要領書、機器製作図、試験検査記録書、JIS規格証明書、使用資材及び機器検査承諾書、資材試験表
中	1	施工体制台帳(契約書の写しを含む)
	1	施工体系図
		安全管理実施報告書(使用機械・工具・車両等の点検等、過積載防止の記録等) 及び安全教育実施報告書(安全巡視、TBM、KY、新規入場者教育等)
	2	月毎の工事履歴報告書(出来形率、工程表、写真) ※補助工又は工期が6ヶ月以上の場合
	1	部分払い関係書類(出来形率・内訳書・写真・請求書) ※請求する場合のみ
	1	設計変更見積書 ※監督員の指示がある場合
	1	休日取得実施書(大垣市発注の週休2日制確保モデル工事試行要領(営繕工事))
完	1	★完成届
払	1	★請求書
用	1	完成写真(着工前・完成) ※トリミング済みの完成写真の方に色付け、撤去部分:青、新設部分:赤
完	1	完成写真(着工前・完成)、工事写真(着工前～工事中～完成)及び完成写真データ(補助申請用)
成	1	実施工程表
	1	完成図(設計図訂正)
図	1	機器完成図
書	1	各種試験結果記録表
綴	1	検査調書、保証書及び主資材出荷証明書 ※保証書の保証開始日は、引き渡し日(工事検査の合格日)からとする。
込	1	再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書 ※計画書・実施書を併せて提出
用	1	建設廃棄物処理委託契約書(写し)
	1	建設業退職金共済組合掛金収納書またはその他の退職金制度での加入証明書
	1	工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況報告書
	1	保全に関する説明書(取扱い説明書及び保守管理要領参考資料)
	1	社内検査報告書及び建築課検査報告書
	-	事後調査報告書(近隣写真等)
	1	監督員通知書(写し)
	1	騒音・振動報告書
	1	特定粉じん排出等作業の結果報告(大気汚染防止法第18条の23)
そ	-	図面製本 A4(A3 2折): (●完成図:設計図修正 ●施工図) (●カラー ○モノクロ)
の	1	図面データ:(●完成図:設計図修正 ●施工図)
他	1	目録と鍵
	1	産業廃棄物管理票(マニュアル票)
	提示	書類収納用のプラスチックケース(市指定)

- 図面及び提出書類のデータは完成時にまとめてCD又はDVD(本体共)にて提出すること。  
 ※最新のパターンファイルを適用したウイルスソフトでスキャンしたものに限り。
- 監督員の指示する書類については期限までに提出すること。
- 完成図書は背幅伸縮ファイル(FLA FL-023SH)に指定保存年限ごとに綴り、市指定の表紙を貼ること。
- 個人情報、黒塗り等で消すこと。
- ★印の書類は、https://www.city.ogaki.lg.jp/0000007329.htmlに掲載。



附近見取図 S=FREE 工事場所

年度	令和5年度					令和6年度						
	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
建築工事					★現場着手							
電気工事					(準備期間)★現場着手							
衛生工事(空調包含)					(準備期間)★現場着手							



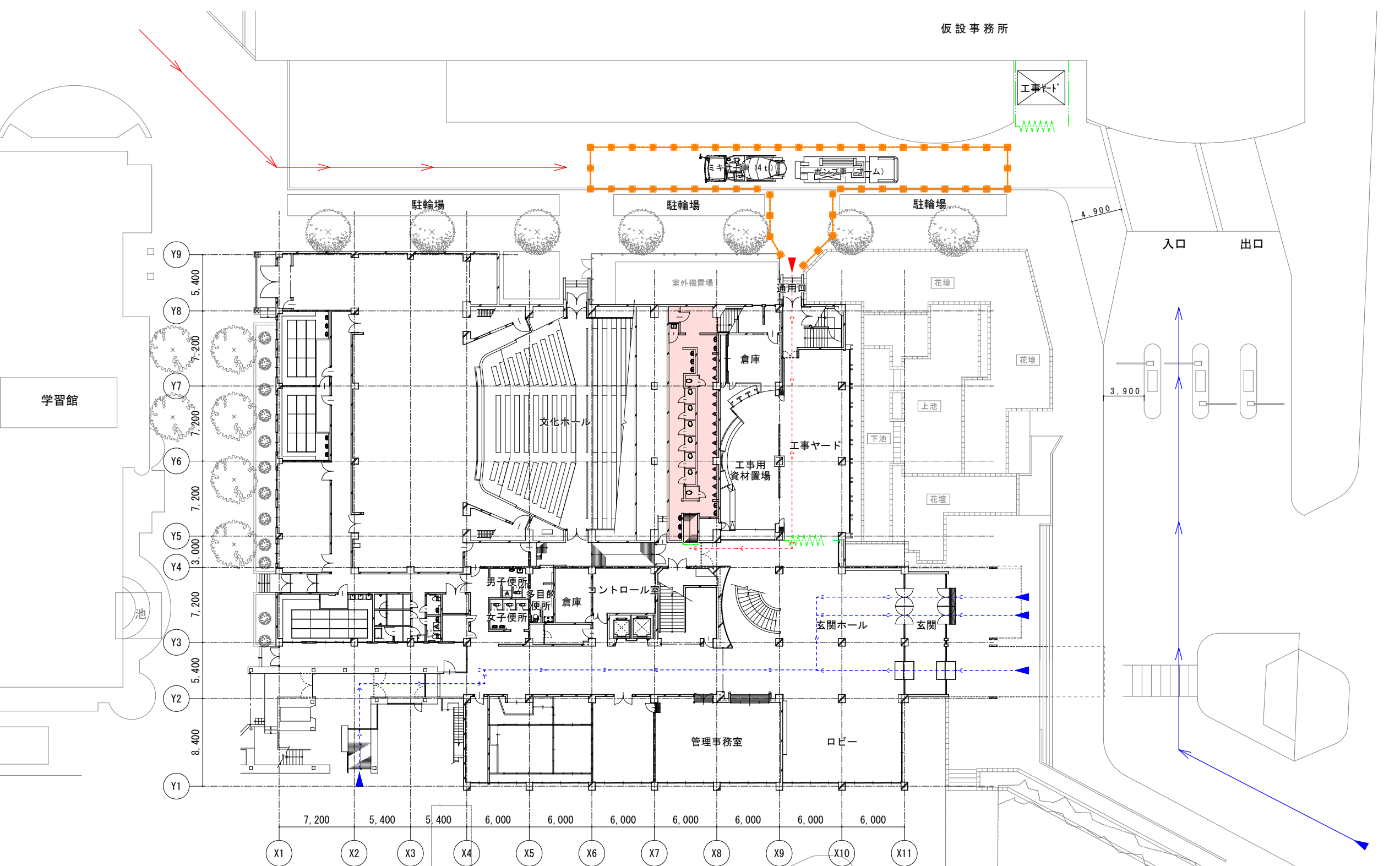
項目	建築	電気	衛生	備考
躯体関係				
コブ抜き(珪珪補修共)	○	○	●	
補強を要する開口部の穴埋め(補強共)	●	○	○	
補強を要しない開口部の穴埋め	○	○	●	
貫通孔・開口部の墨出し	○	○	●	
配管振れ止め架台及び支持架台	○	○	●	
内装改修関係				
一般天井の設備機器取付用穴開け	○	●	●	
設備機器取付用の壁及び天井の補強	●	○	○	
開口部の墨出し	○	●	●	
点検口(天井・壁・床下)	●	○	○	
設備機器取付用の壁材の穴開け(ボード)	○	●	●	
改修室内の什器、備品の仮移設、復旧	●	○	○	
電気・衛生・空調設備工事				
機器一次側電源工事	○	●	○	
各種器具設置に伴う下地補強	●	○	○	
換気扇本体及び取付枠	○	○	●	
同上SW撤去・取付工事	○	●	○	
換気扇用カバー・バンドキャップ	○	○	●	
同上コブ抜き及び珪珪補修	○	○	●	
換気ダクト脱着	○	○	●	
衛生器具及び給排水管据付	○	○	●	※床掃除口は衛生工事
解体関係				
天井・壁・床の解体・復旧	●	○	○	
既設設備類撤去	●	●	●	
上記に伴う仮設足場	●	○	○	
既設隠蔽管撤去・閉栓	○	○	●	
既設隠蔽管撤去穴補修	●	○	●	
コンクリート(土間スラブ)の解体・復旧	●	○	○	※スラブ下の碎石の復旧含む

--- ガードフェンス H=1.8m	▲ 本工事関係者出入口
-W-W- キャスターゲート W=3.0m	▶ 施設利用者出入口
--- カラーコーン	→ 本工事関係者動線
	→ 施設利用者動線

<仮設計画：注意事項>

- 敷地、建物内への資材等搬入出時は、施設利用者の安全に配慮すること。
- 搬入場所、搬入経路は、監督員と協議を行うこと。

配置図兼仮設計画図 S=1/1,000



【凡例】

	ガードフェンス H=1.8m		本工事関係者出入口
	キヤスターゲート W=3.0m		施設利用者出入口
	カーコンバー		本工事関係者動線 (工事車両)
	カーコン		施設利用者動線 (一般車両)
	改修エリア		本工事関係者動線 (工事作業員)
			施設利用者動線 (施設利用者)

<仮設計画：注意事項>

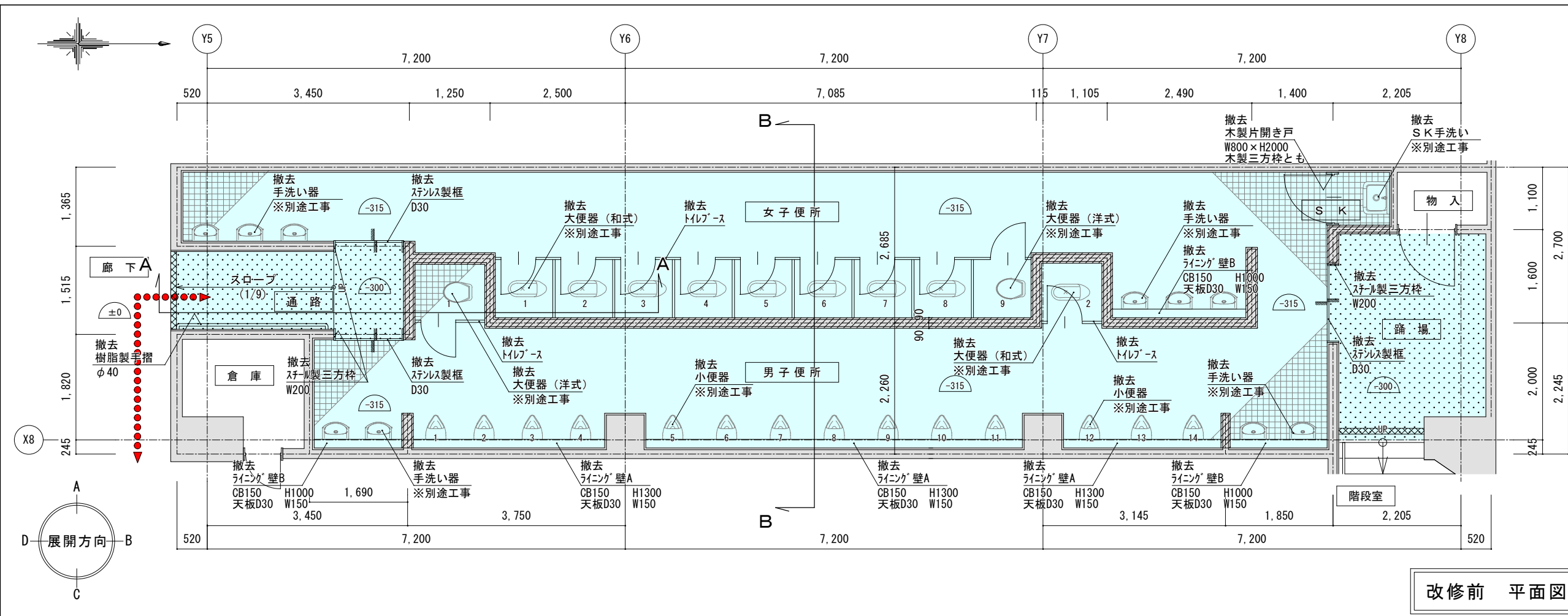
- ・敷地、建物内への資材等搬入出時は、施設利用者の安全に配慮すること。
- ・搬入場所、搬入経路は、監督員と協議を行うこと。

内部仕上表

階	室名	面積(m <sup>2</sup> )	床		巾木		壁		天井					備考			
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	塗装	廻縁	天井高				
1	便所	改修前	87.7	RC+Mコテ【撤去】	磁器磨き丸モザイクタイル貼【撤去】	6.5	TBH【撤去】	—	RC+Mコテ【間仕切壁撤去】	半磁器タイル(100×100)貼【間仕切壁撤去】	LGS【撤去】	「フレック」【撤去】	6.0	—	塩ビ【撤去】	2.065	
	便所(男子)	改修後	36.8	RC+Mコテ	FS(防滑・抗菌)	2.0	SUS	75	LGS+GB-S12.5	化粧FK6.0	LGS	FK	6.0	EP	塩ビ	2.050	・手洗い鏡部下地:耐水合板t12.0+化粧FK6.0
	便所(女子)		46.1	RC+Mコテ	FS(防滑・抗菌)	2.0	SUS	75	LGS+GB-S12.5	化粧FK6.0	LGS	FK	6.0	EP	塩ビ	2.050	
	通路2	改修後	3.7	RC+Mコテ	FS(防滑・抗菌)	2.0	SUS	75	LGS+GB-S12.5	化粧FK6.0	LGS	FK	6.0	EP	塩ビ	2.050	
	踊場	改修前	9.9	RC+Mコテ【撤去】	FS【撤去】	3.0	VB	100	RC+Mコテ	EP-T	LGS【撤去】	「GB-R」【撤去】	9.5	ケ-ソ吹付	塩ビ【撤去】	2.600	
	踊場	改修後	9.3	RC+Mコテ	FS(防滑)	2.0	VB	100	既設のまま	EP	LGS	FK	6.0	EP	塩ビ	2.600	
	物入	改修前	1.8	RC+Mコテ【撤去】	FS【撤去】	3.0	VB	100	RC+Mコテ	—	LGS	「GB-R」	9.5	—	塩ビ【撤去】	2.100	
	物入	改修後	1.8	RC+Mコテ	FS(抗菌)	2.0	既設のまま	100	既設のまま	—	既設のまま	既設のまま	9.5	—	既設のまま	2.100	
	通路	改修前	6.1	RC+Mコテ【撤去】	HS【撤去】	3.5	VB	100	RC+Mコテ	モルタル下地吹付タイル	LGS【撤去】	「GB-R」【撤去】	9.5	—	塩ビ【撤去】	2.130 ~ 2.570	
	通路1	改修後	6.1	RC+Mコテ	FS(防滑)	2.0	SUS	75	LGS+GB-S12.5	化粧FK6.0	LGS	FK	6.0	EP	塩ビ	2.040 ~ 2.570	
SK	改修前	1.8	RC+Mコテ【撤去】	磁器磨き丸モザイクタイル貼【撤去】	6.5	TBH【撤去】	—	RC+Mコテ	半磁器タイル(100×100)貼	LGS【撤去】	「フレック」【撤去】	6.0	—	塩ビ【撤去】	2.065		
SK	改修後	2.8	RC+Mコテ	FS(抗菌)	2.0	SUS	75	LGS+GB-S12.5	化粧FK6.0	LGS	FK	6.0	EP	塩ビ	2.050	・フック板:タモ積層材W1000*75*20 OSCL ビス止め@500 込桎止め	

【表示略号】(符号の後の数字は厚み表す)

RC	床	標仕6.2.4及び標仕15.3.4による	<薄付け仕上塗材>		HW	硬質木毛セメント板	<管類>			<建具類>							
			吹付用軽量塗材	吹付用軽量骨材仕上塗材	NW	普通木毛セメント板	VP、VU	硬質ポリ塩化ビニル管	WD	木製戸	FH	アロヒンジ					
	壁	コンクリート打放し(種別)標仕6.2.4による	こて塗用軽量塗材	こて塗用軽量骨材仕上塗材	HF	硬質木片セメント板	RS-VU	リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管	SD	鋼製戸	LH	ラバトリヒンジ					
	天井	コンクリート打放し(種別)標仕6.2.4による	<マステック塗材>		FK	けい酸カルシウム板	HP	遠心力鉄筋コンクリート管	LD	鋼製軽量戸	PH	ビレットヒンジ					
LGS		軽量鉄骨下地	マステックA	マステック塗材塗り A種	NF	普通木片セメント板	SGP	配管用鋼管	SSD	ステンレス製戸	HC	ヒンジコーサー					
			マステックB	マステック塗材塗り B種	R	ラワン合板	TGP	配管用つば付き鋼管	AD	アルミニウム製戸	P	フロート板ガラス					
			<薄付け仕上塗材>		GB-DP	化粧せっこう吸音ボード(有孔)	STK	構造用鋼管	PD	樹脂製戸	F	型板ガラス					
			<塗装工法>		GB-P	吸音用あなあき石膏ボード	SGPW	亜鉛メッキ鋼管	WW	木製窓	NF	網入型板ガラス					
	外装薄塗材Si	外装けい酸系系薄付け仕上塗材	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	RW	ロックウールガラスクロス張り			SW	鋼製窓	WF	線入型ガラス					
	可とう系外装外装薄塗材Si	可とう系外装けい酸系系薄付け仕上塗材	CL	クリヤッカー塗り													
	外装薄塗材E	外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	RW-F	ロックウール吸音フェルト	<その他>					SSW	ステンレス製窓	NP	網入磨き板ガラス		
	可とう系外装外装薄塗材E	可とう系外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	DP	耐候性塗料塗り	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用)	MH	マンホール	AW	アルミニウム製窓	WP	線入磨き板ガラス					
	防水形外装外装薄塗材E	防水形外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	EP-G	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り	化粧FK	化粧けい酸カルシウム板 t=6.0	RD	ルーフドレン	PW	樹脂製窓	L	合わせガラス					
	外装薄塗材S	外装合成樹脂溶液系薄付け仕上塗材	EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	<内装壁床材>			RDS	横引ルーフドレン	SS	重量シャッター	T	学校用強化ガラス				
	内装薄塗材C	内装セメント系薄付け仕上塗材	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り	TS	単層ビニル床シート No-WAX品	RDM	中継ルーフドレン・バルコニードレン	LS	軽量シャッター	HAP	熱線吸収フロート板ガラス					
	内装薄塗材L	内装消石灰・ドロマイトラスター系薄付け仕上塗材	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	FS	複層ビニル床シート	〃	掲示クロス下地	OHD	オーバーヘッドドア	HAMP	熱線吸収網入磨き板ガラス					
	内装薄塗材Si	内装けい酸系系薄付け仕上塗材	LE	ラッカーエマル塗り	HS	発泡複層ビニル床シート	〃	PR	ビクチャーレール	WG	木製がらり	HAWP	熱線吸収線入磨き板ガラス				
	内装薄塗材E	内装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材	OS	オイルステイン塗り	KS	クッションフロア	〃	<内装制限>					SG	鋼製がらり	IG	複層ガラス	
	内装薄塗材W	内装水性樹脂系薄付け仕上塗材	WP	木材保護塗料塗り	FT	複層ビニル床タイル	〃	不共	下地共不燃材	AG	アルミニウム製がらり	HR	熱線反射ガラス				
			<厚付け仕上塗材>		KT	コンボーションビニル床タイル	〃	不	不燃材	H	ふすま	DS	倍強度ガラス				
	外装厚塗材C	外装セメント系厚付け仕上塗材			FOA	置敷きビニル床タイル	〃	準共	下地共準不燃材以上	AP	アルミニウム製パネル	DSHA	倍強度熱線吸収ガラス				
	外装厚塗材Si	外装けい酸系系厚付け仕上塗材	AC	アクリル樹脂ワニス塗り	FOB	薄型置敷きビニル床タイル	〃	準	準不燃材	ACW	アルミニウム製カーテンウォール	A	中空層				
	外装厚塗材E	外装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材		(アクリル樹脂クリヤ塗り)	TC	タイルカーペット	〃	難	難燃材以上	DC	ドアコーサー	EOS	電動オーバーライダー				
	内装厚塗材C	塗材内装セメント系厚付け仕上塗材	AE	対候性塗料塗り	PTB	パテイクルボード	<不燃・準不燃認定番号>			<材質種別>			<防水種別>				
	内装厚塗材L	内装消石灰・ドロマイトラスター系厚付け仕上塗材		(アクリルシリコン樹脂塗料)	FA	フローアケスフロア	GB-R	12.5	不燃	NM-8619	ST	鋼製	AS	アスファルト防水			
	内装厚塗材G	内装せっこう系厚付け仕上塗材	<ハネル・ボード類>			コテ	コンクリート金ゴテ押え	GB-R	9.5	準不燃	QM-9828	AL	アルミ製	P	塗膜防水		
	内装厚塗材Si	内装けい酸系系厚付け仕上塗材	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	コテ	モルタル金ゴテ押え	GB-S	9.5/12.5	準不燃	QM-9826	SUS	ステンレス製	S	シート防水			
	内装厚塗材E	内装合成樹脂エマルジョン系厚付け仕上塗材	ECP	押出成形セメント板	SLV	セルフレベリング	GB-S(不)	12.5	不燃	NM-9639	V	ビニル製					
			TB	テラゾブロック	VC	ビニルクロス(不燃)	GB-F	12.5/15/21	不燃	NM-8615	W	木製					
	複層塗材CE	ホリマーセメント系複層仕上塗材	ECP	押出成形セメント板	TT	強化リリウムタイル	〃	GB-D	9.5	準不燃	QM-9824	【特記事項】					
	可とう形複層仕上塗材CE	可とう形ホリマーセメント系複層仕上塗材	GB-R	せっこうボード			GB-DW	12.5	不燃	*NM-1864	既設改修部下地の欠損、浮き、損傷は補修を行い、付着物除去、不陸調整を行う。 床・壁・天井・建具等の撤去に伴う既設取り合い部の欠損、損傷は補修を行う。 □内の建材は、アスベスト含有建材(レベル3)で想定している。						
	防水形複層仕上塗材CE	防水形ホリマーセメント系複層仕上塗材	GB-L	せっこうラスボード			GB-DW	9.5	不燃	QM-9824							
	複層塗材Si	けい酸系複層仕上塗材	GB-D	化粧せっこうボード	<巾木>					GB-NC					9.5	準不燃	NM-8613
	複層塗材E	合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	GB-S	シジングせっこうボード	WB	木製巾木 H=60 OSCL	GB-P	9.5	不燃	QM-9827							
	防水形複層塗材E	防水形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	GB-F	強化せっこうボード	VB	ビニル巾木 H=100	GB-L	9.5	準不燃	NM-8617							
	複層塗材RE	反応硬化形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	GB-NC	不燃積層せっこうボード	MB	モルタル巾木 H=100	FK	6.0	不燃	NM-8578							
	防水形複層塗材RE	防水形反応硬化形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材	DR	ロックウール化粧吸音板	TBH	タイル仕上げ H=100		一般塗料	不燃	NM-8585							
	複層塗材RS	合成樹脂溶液系複層仕上塗材	RW-B	ロックウール吸音ボード	SUS	ステンレス巾木 H=75 t=1.0		一般塗料	準不燃	QM-9816							
	防水形複層塗材RS	防水形合成樹脂溶液系複層仕上塗材	GW-B	ガラスウール吸音ボード	MO	モコテ+床同材		一般塗料	難燃	RM-9364							
			GB-R-H	普通硬質せっこうボード			VC		不燃	NM-9893							



改修前 平面図

**【凡例】**

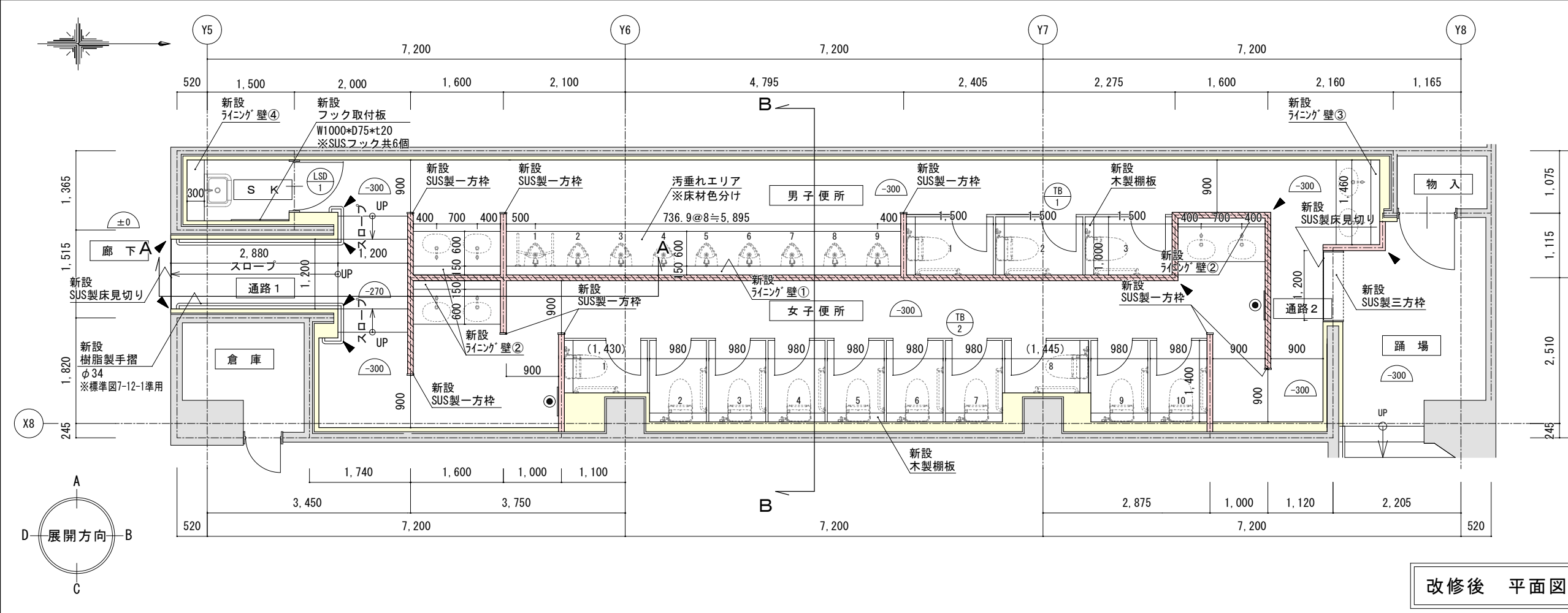
	工事範囲を示す
	既設RC壁 (半磁器タイル口100仕上げ)
	撤去 既設RC壁 (仕上とも)
	撤去 磁器質50角床タイル
	撤去 ビニル床シート
	仮設間仕切壁 (LGS65+GB-R12.5) (7mm製引違い戸 W1400)
	床高 (1FL=±0からの高低差)
	作業者 基本動線

**【撤去・衛生器具表】** ※別途工事

器具名称	男子便所	女子便所
大便器 (和式)	1	8
大便器 (洋式)	1	1
小便器	14	-
手洗い器	4	6
SK		1

**【備考】**

※工事範囲内の内装仕上材は、特記なき限り全撤去。  
 ※工事範囲内の土間コンクリートは、全撤去。  
 ※既設のCB壁、ラインク壁、トイレノス、建具は、特記なき限り全撤去。  
 ※仮設間仕切壁は、LGS65+GB-R12.5片面 (天井まで)、タイル仕上、7mm製引違い戸 (鍵付き) とする。  
 ※仮設間仕切壁は、養生テープで4周を目貼りする。  
 ※便器用手摺、紙巻器等備品の撤去は、設備にて行う。



改修後 平面図

**【凡例】**

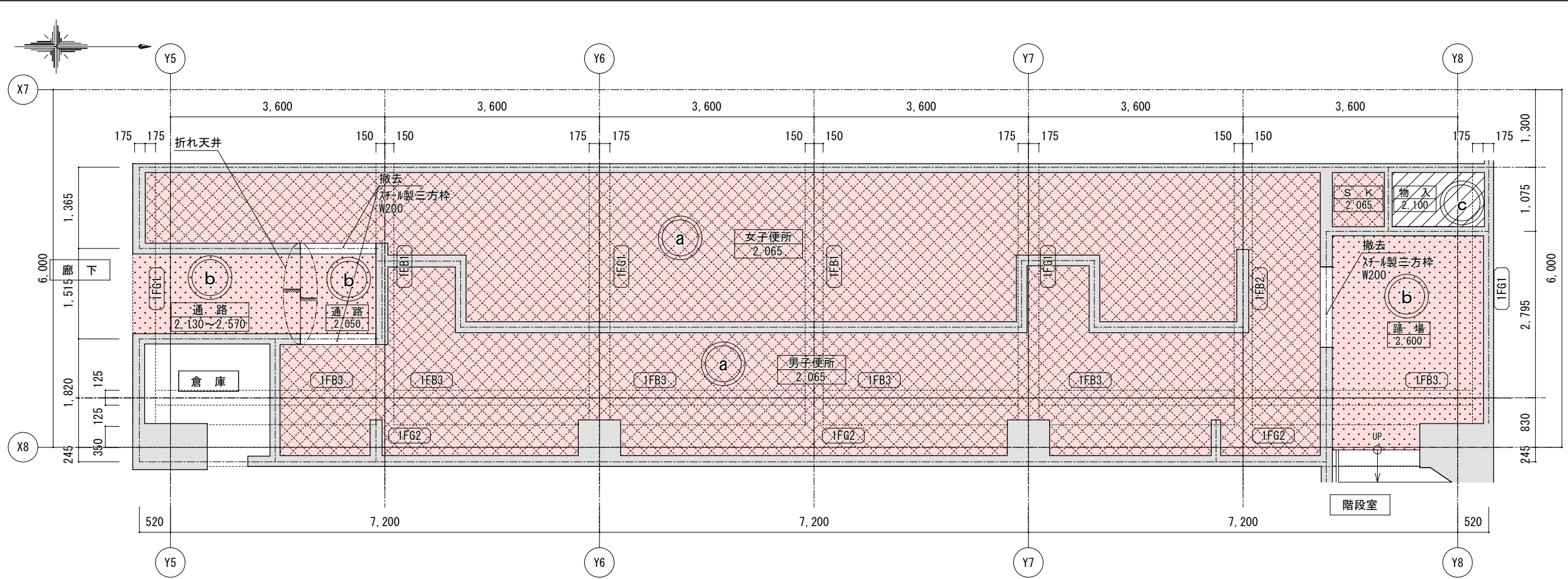
	既設RC壁
	間仕切壁A
	間仕切壁B
	ふかし壁
	建具符号
	樹脂製コナガ-ト D20*H1500
	大型化粧鏡 W500*H1500
	床高 (1FL=±0からの高低差)

**【新設・衛生器具表】** ※別途工事

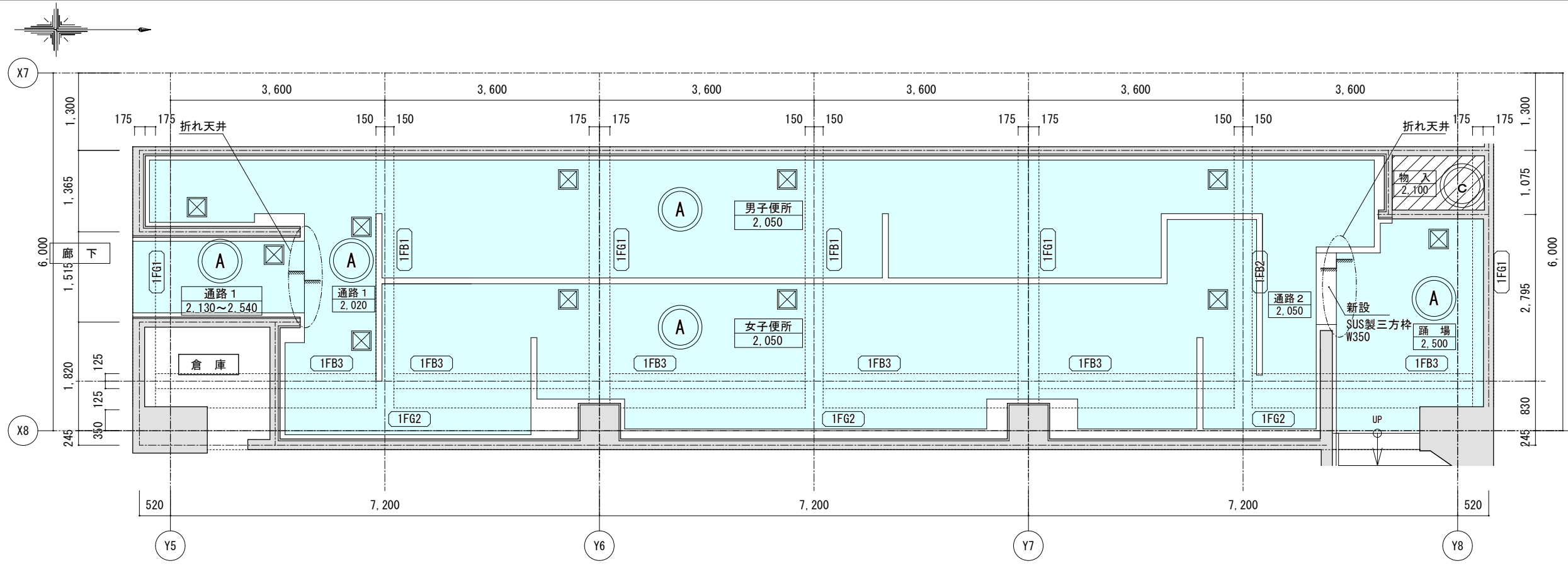
器具名称	男子便所	女子便所
大便器 (洋式)	3	10
小便器	9	-
手洗い器	4	4
SK		1

**【備考】**

※間仕切壁A : LGS65+GB-S12.5+化粧FK6.0仕上  
 ※間仕切壁B : 間仕切壁A壁と同仕様+GW24k t50充填  
 ※ふかし壁 : LGS50+GB-S12.5+化粧FK6.0仕上  
 ※SUS製一方枠 : SUS304 HL仕上 W120\*D25  
 ※SUS製三方枠 : SUS304 HL仕上 W350\*D25  
 ※SUS製床見切り : SUS304 HL仕上 t2.0\*D20  
 ※木製棚板 : PFt20\*D150\*L1000  
 ※スロープ部 : 床材貼分け (防滑タイプ)



改修前 天井伏図



改修後 天井伏図

【凡例】

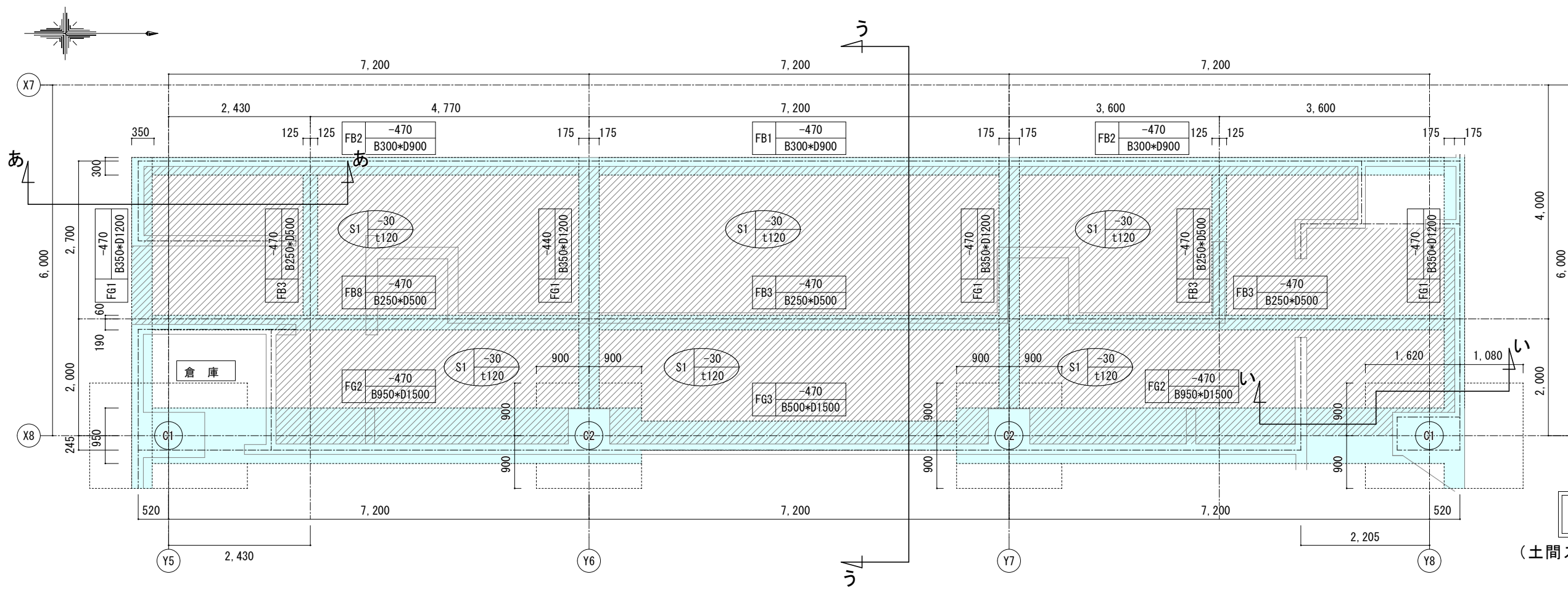
	既設RC壁
	既設2階梁位置
	天井撤去範囲
	既設天井：7桁7' 跡・ド't4.0
	既設天井：GB-Rt9.0 ケーヅ吹付
	既設天井：GB-Rt9.0
	新設天井：FKt6.0 EP
	新設天井点検口：7桁口450
	上段：室名 下段：天井高さ

既設梁記号

梁符号	梁寸法
1FG1	幅350×高800
1FG2	幅700×高800
1FB1	幅300×高800
1FB2	幅300×高500
1FB3	幅250×高450

【特記事項】

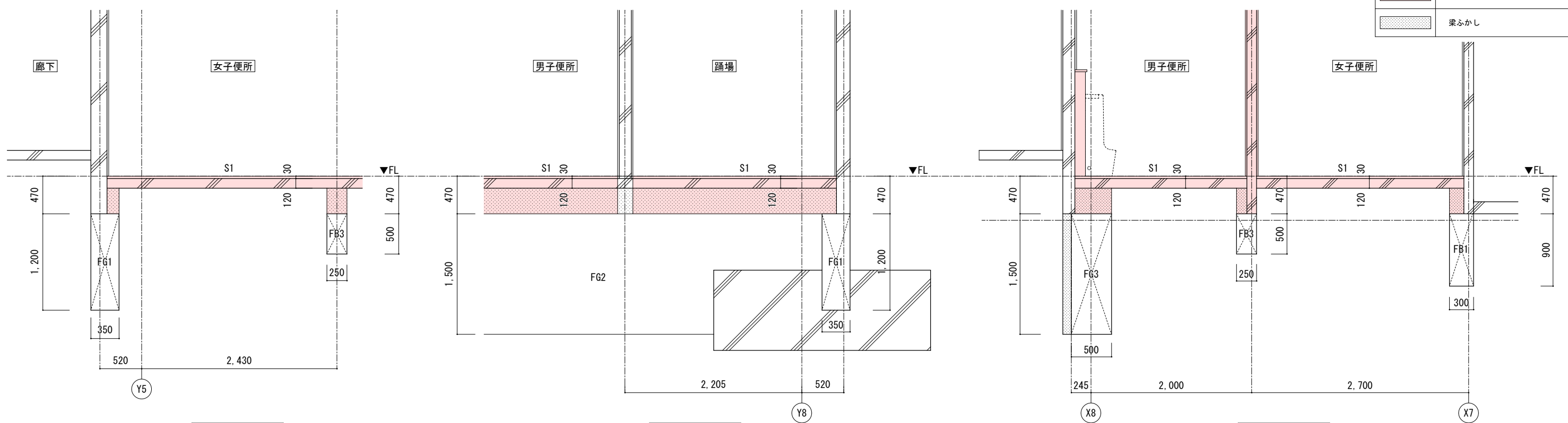
- 改修範囲内の天井面に設置された設備、特記なき限り全て撤去する。
- 天井点検口の設置位置は、監督員と協議して決定する。



**【凡例】**

	地中梁位置
	基礎フーチン位置
	土間スラブ撤去範囲
スラブ記号	
	a 符号
	b FLからスラブ天端までの高低差
	c スラブ厚
梁記号	
	a 符号
	b FLから梁天端までの高低差
	c 梁寸法

**床伏図**  
S=1:80  
(土間スラブ撤去範囲図)



**【凡例】**

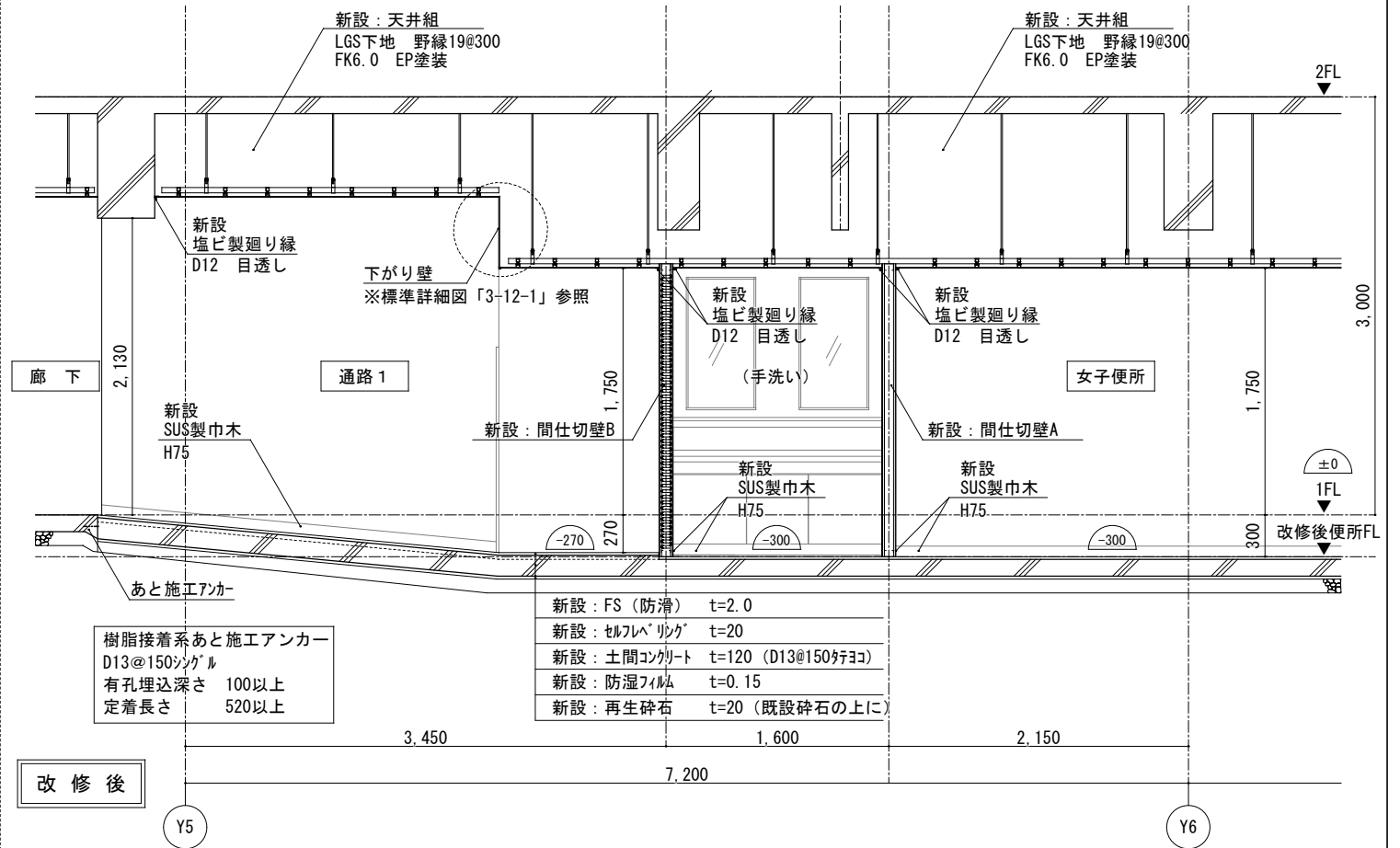
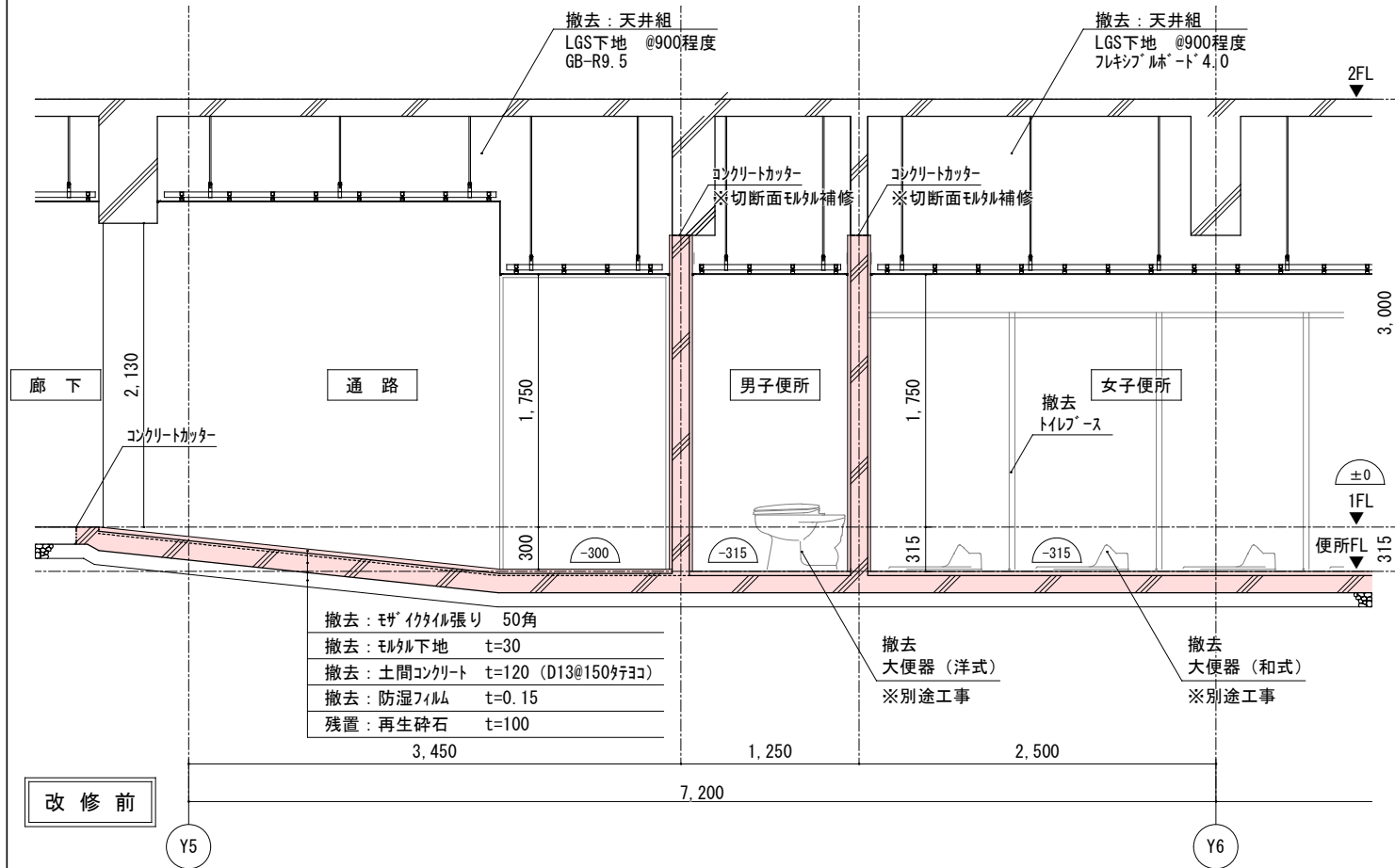
	撤去範囲 (スラブ・壁)
	梁ふかし

**あ-あ断面図**  
S=1:50

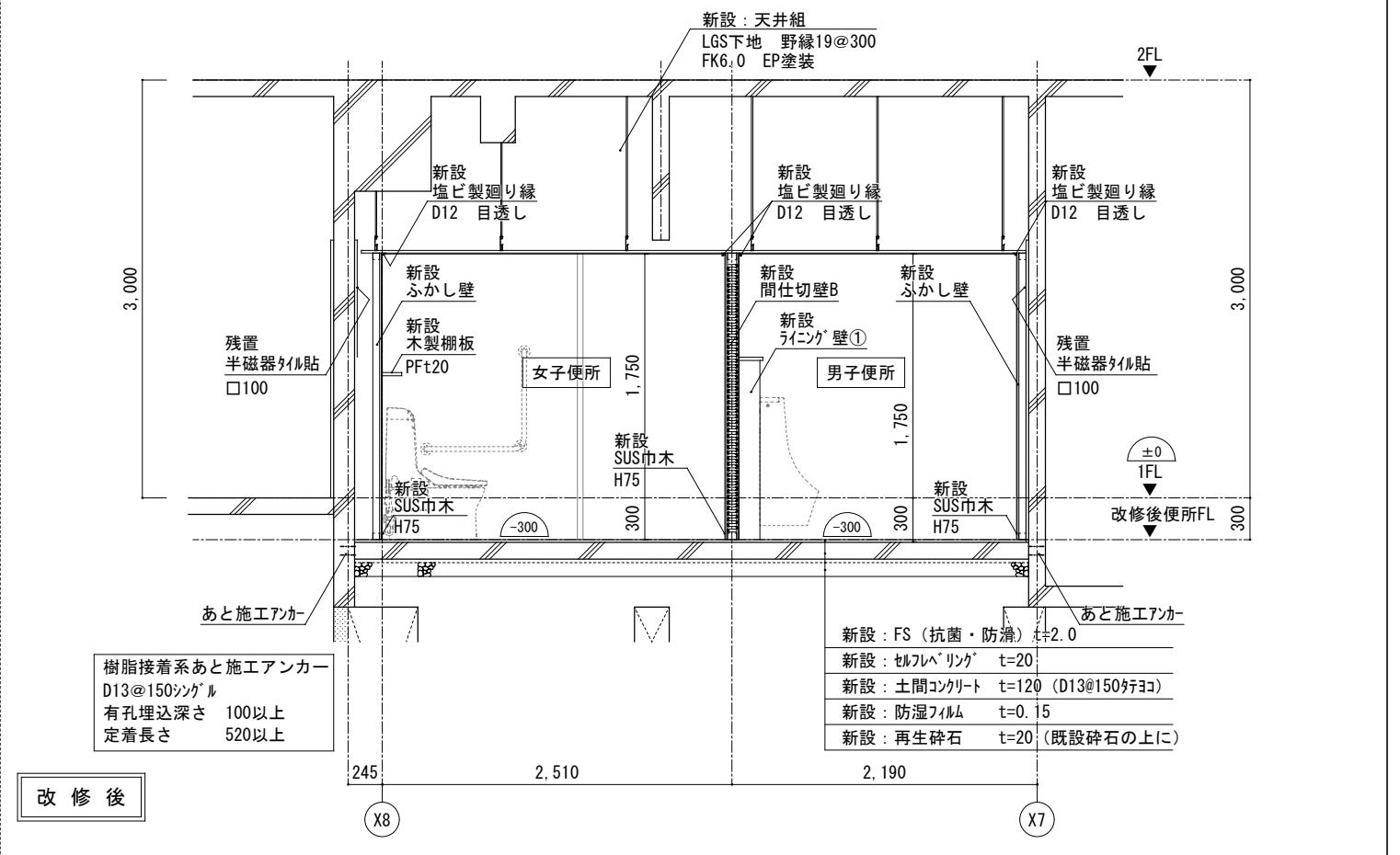
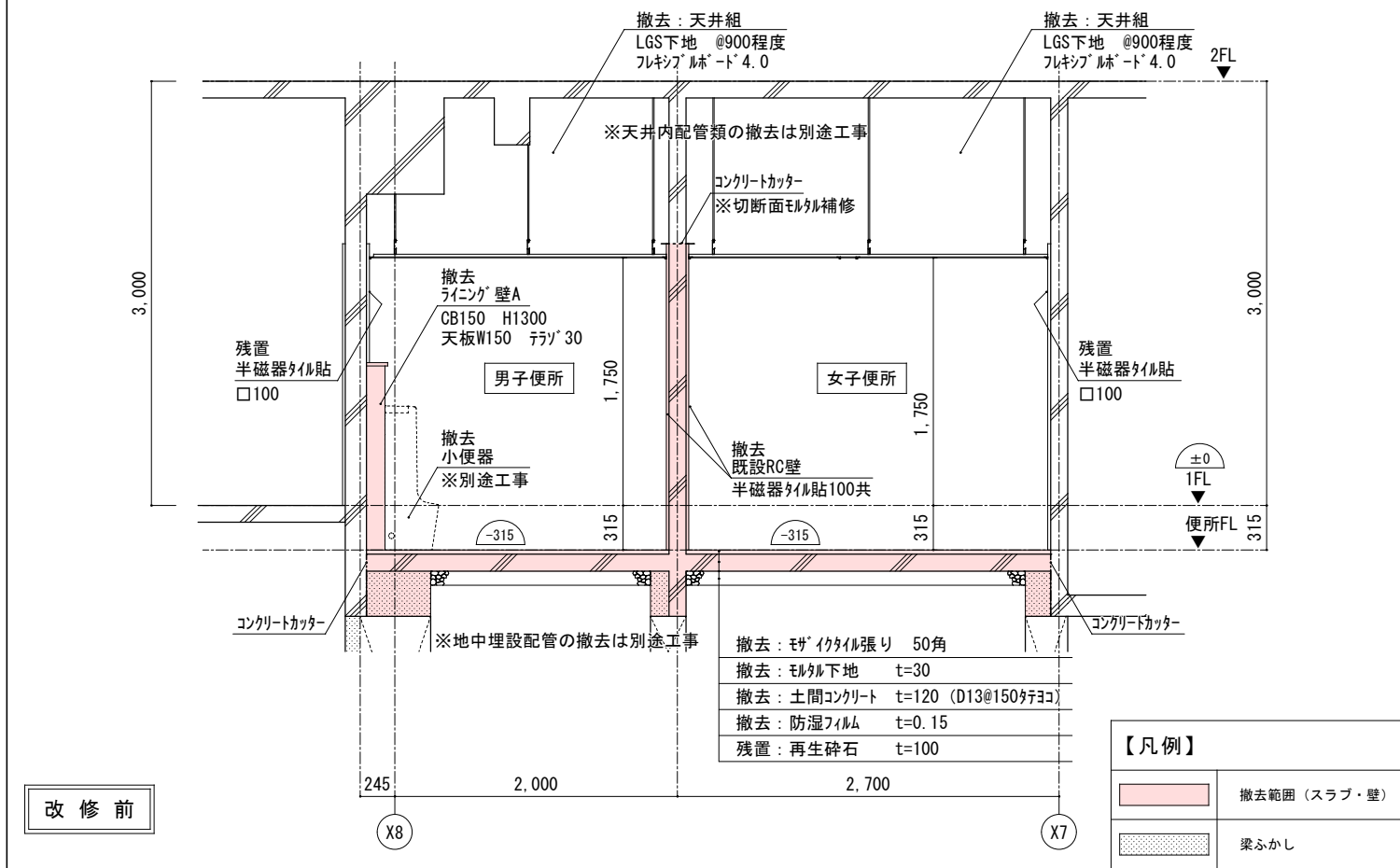
**い-い断面図**  
S=1:50

**う-う断面図**  
S=1:50

A-A断面図

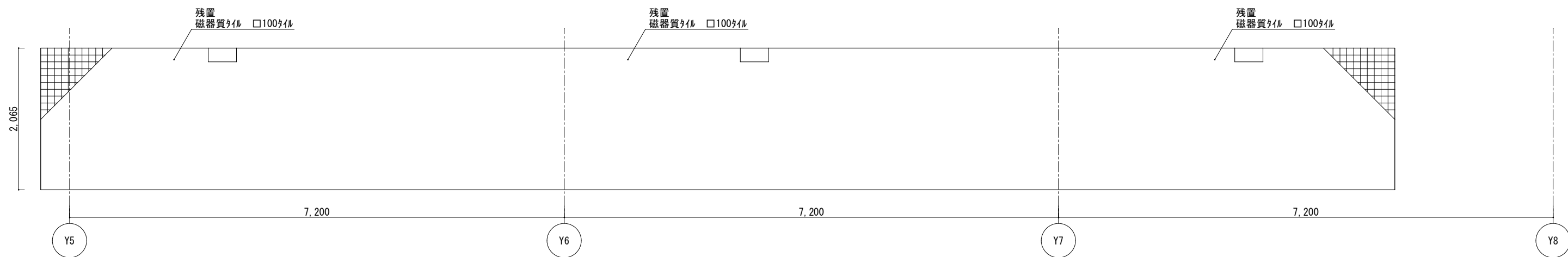


B-B断面図



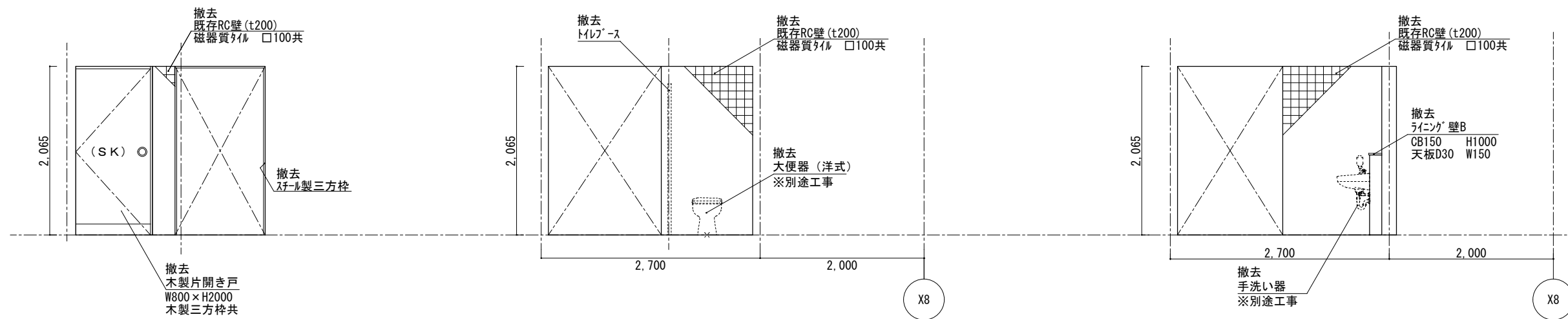


女子便所



A面

女子便所

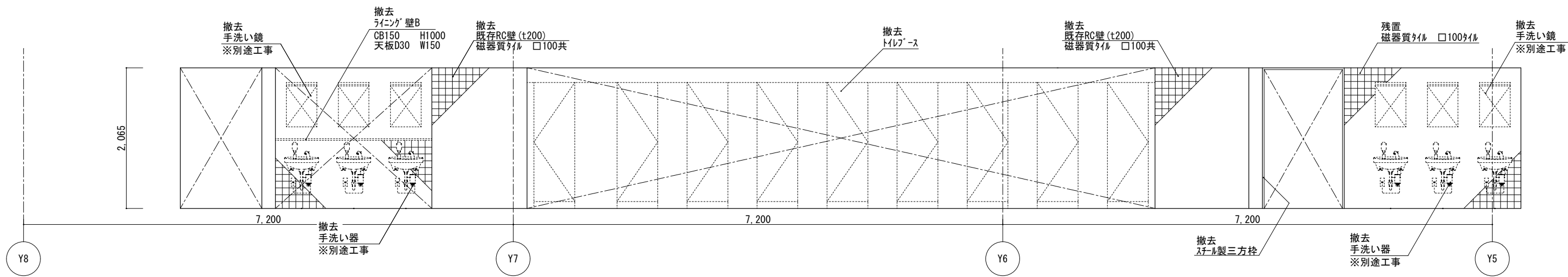


B面

B'面

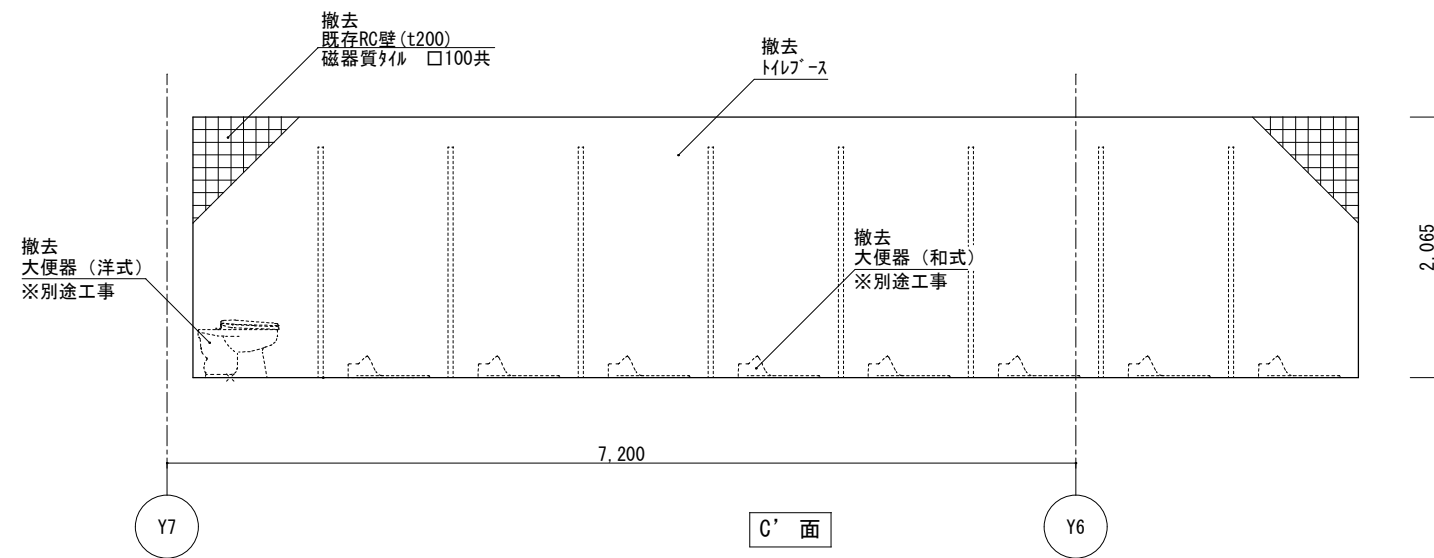
B''面

女子便所

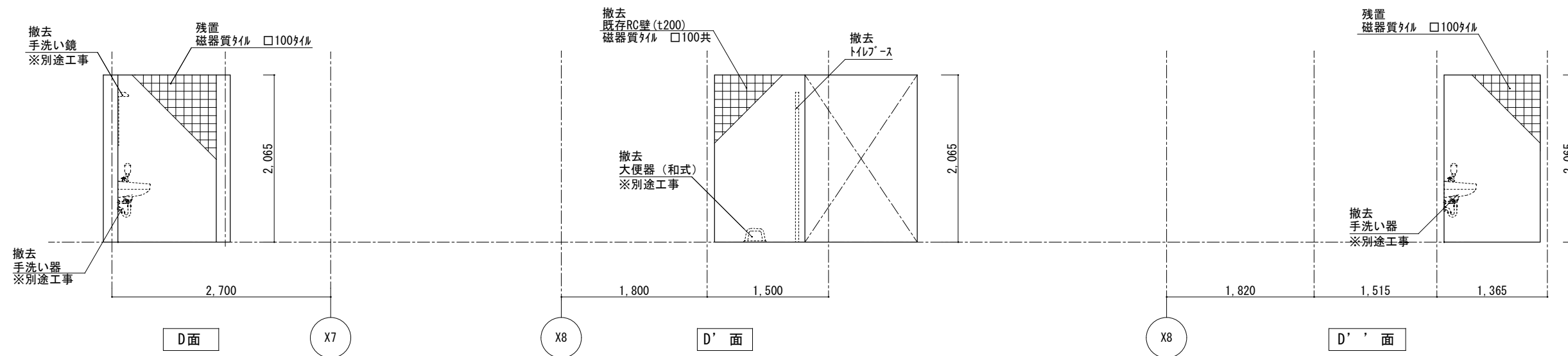


C面

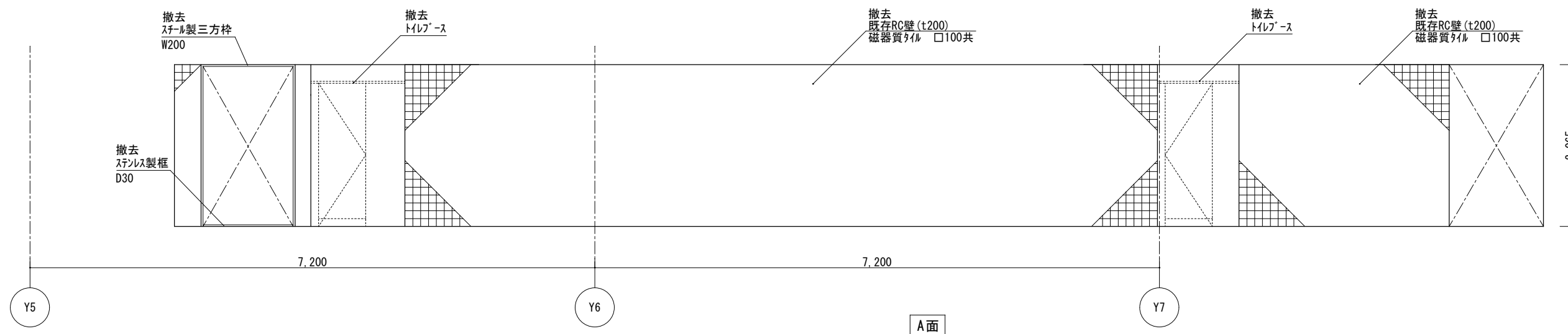
女子便所



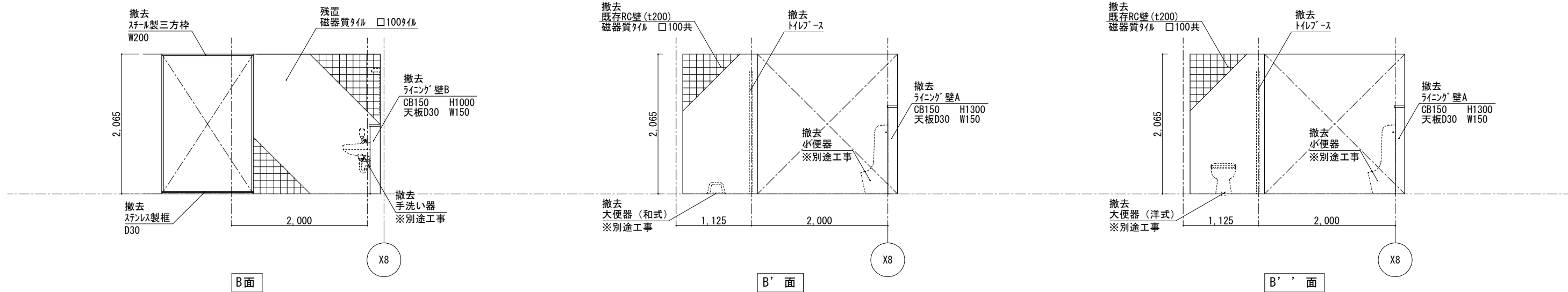
女子便所



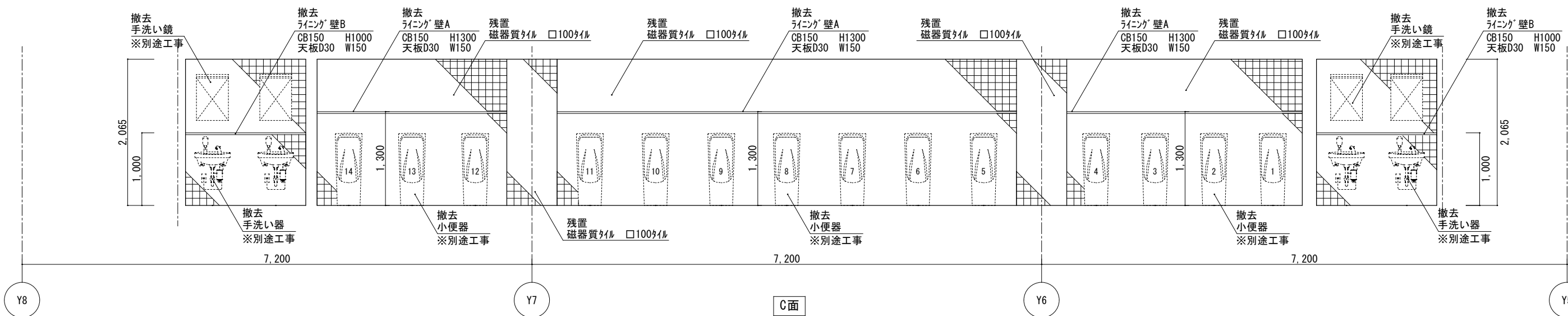
男子便所



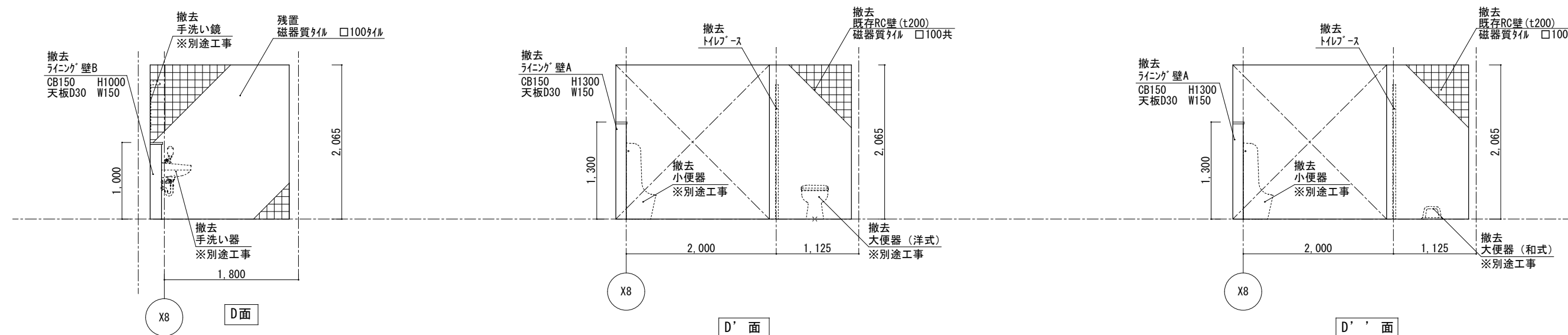
男子便所



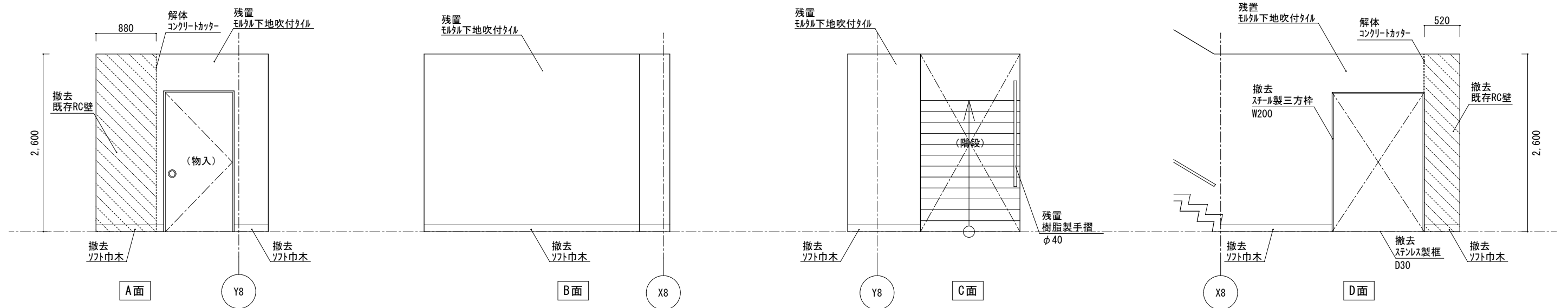
男子便所



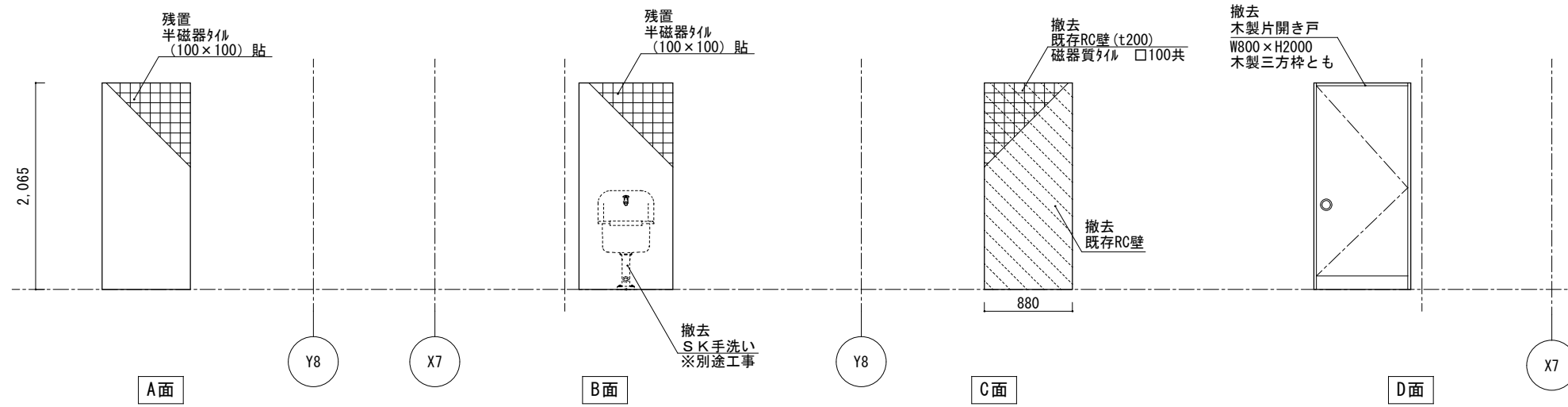
男子便所



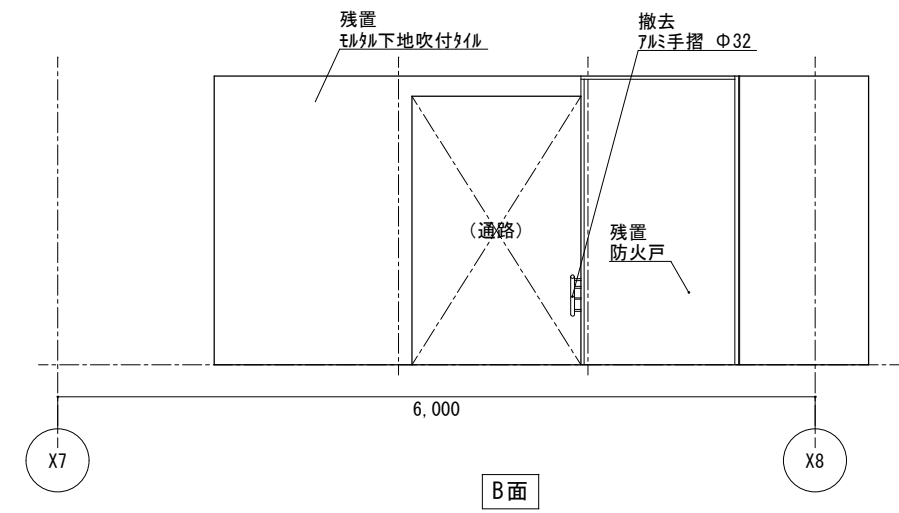
踊場



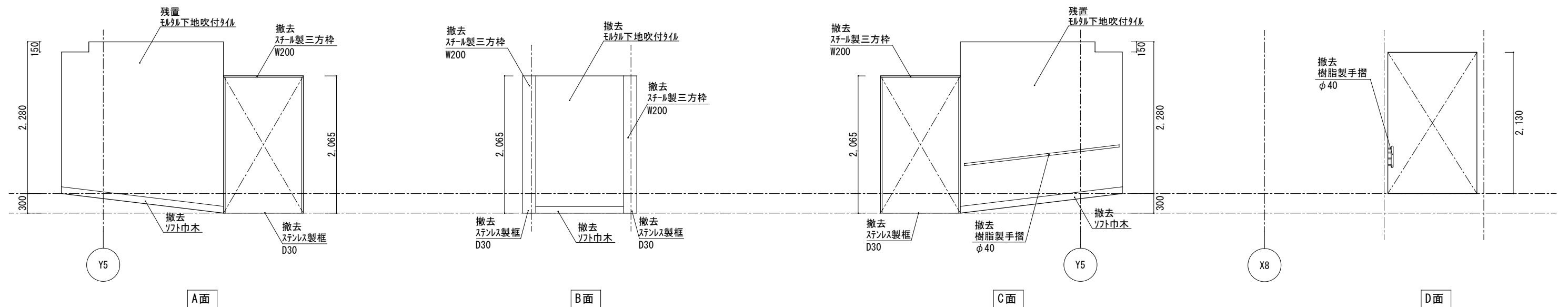
S K



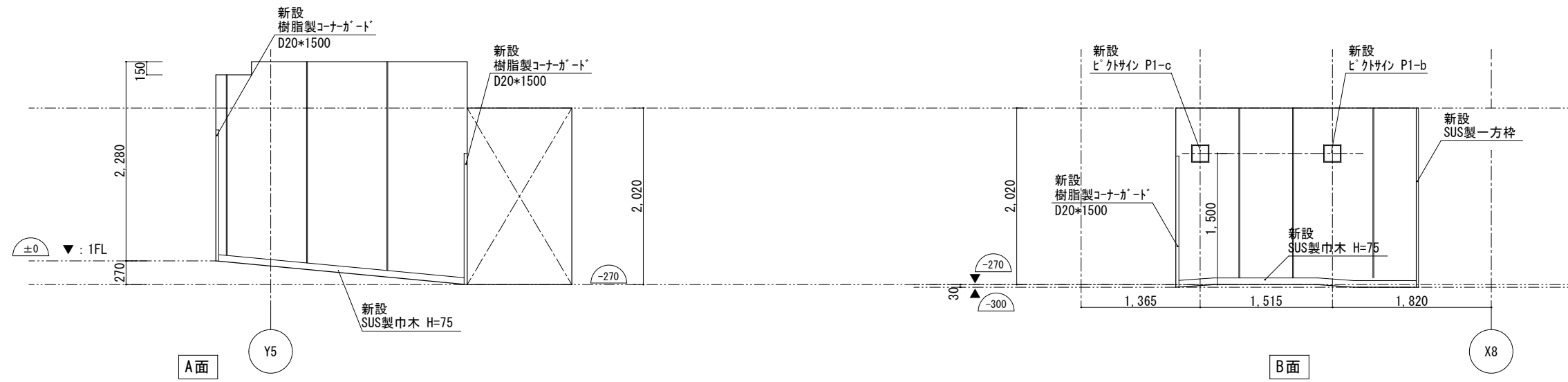
廊下



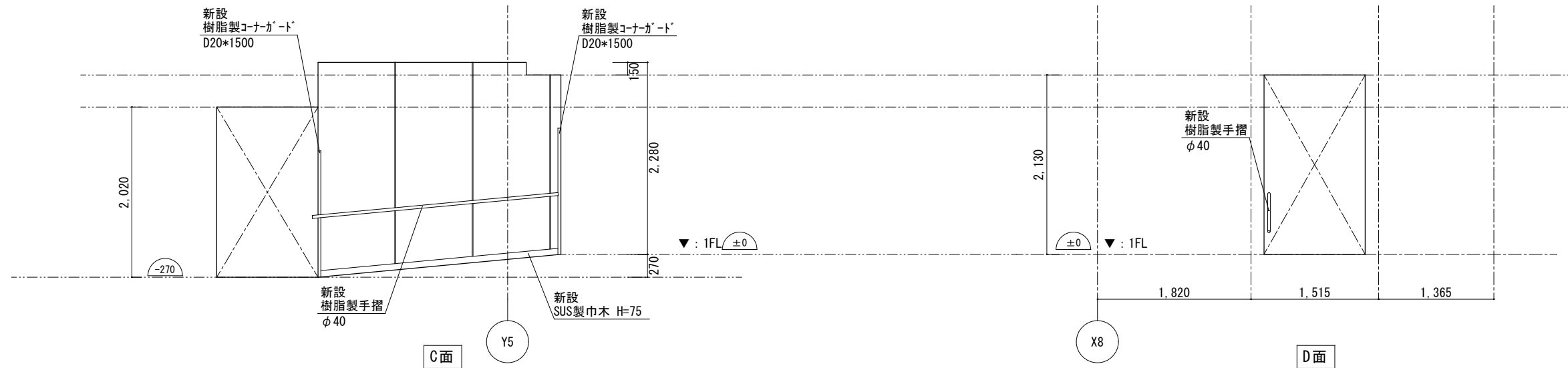
通路



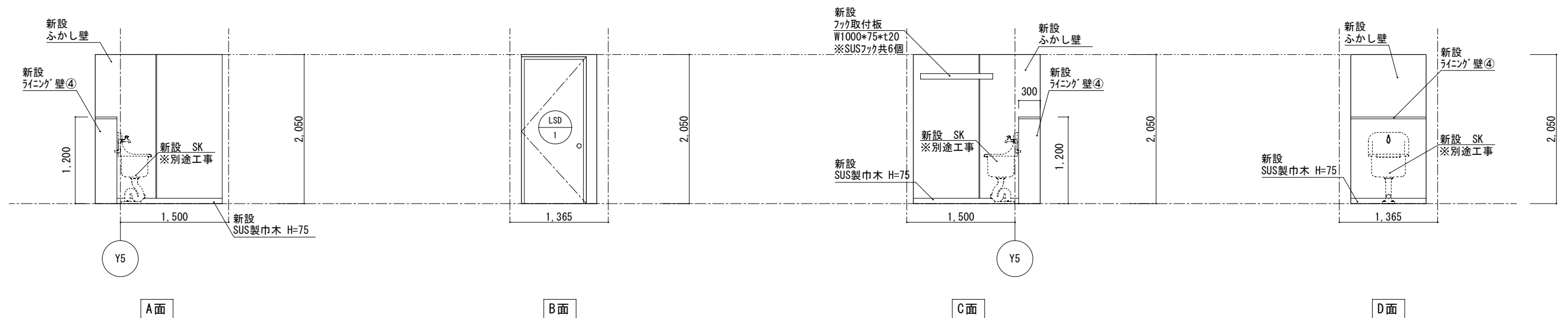
通路 1



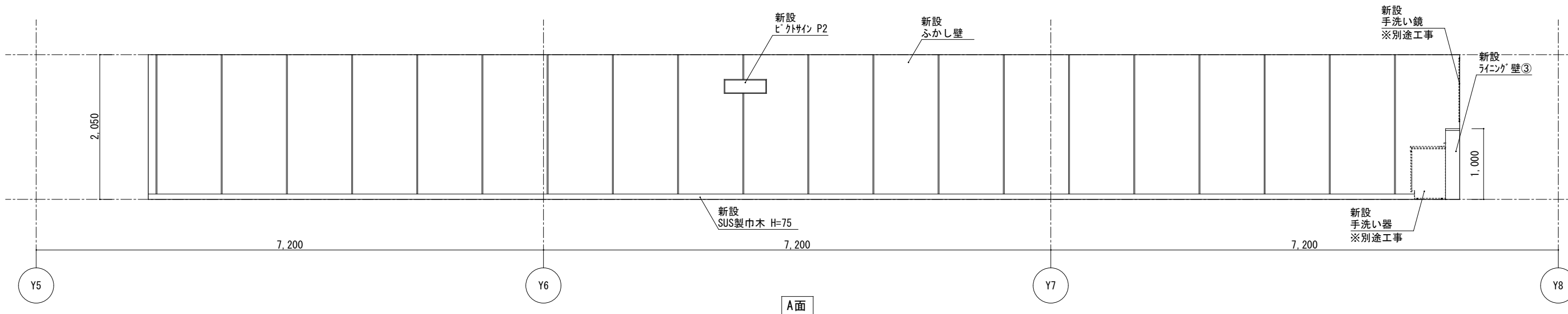
通路 1



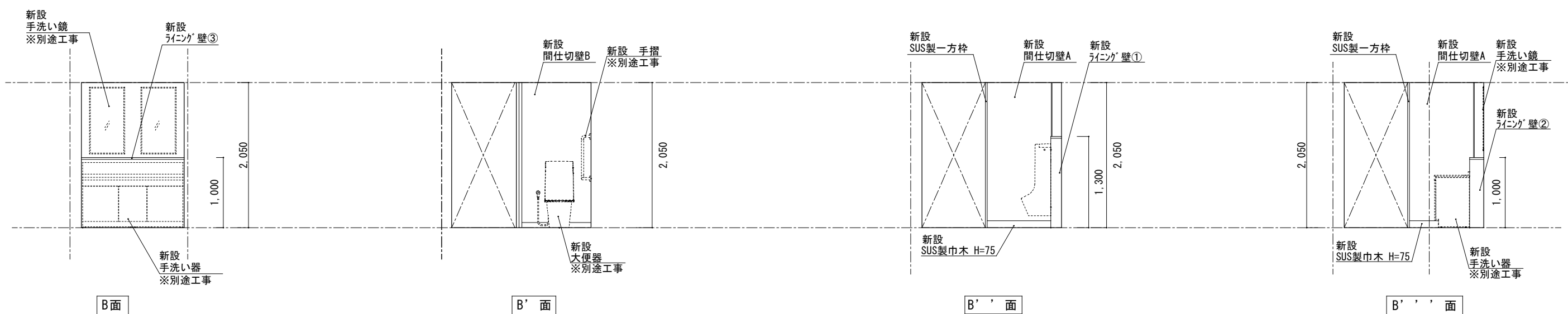
S K



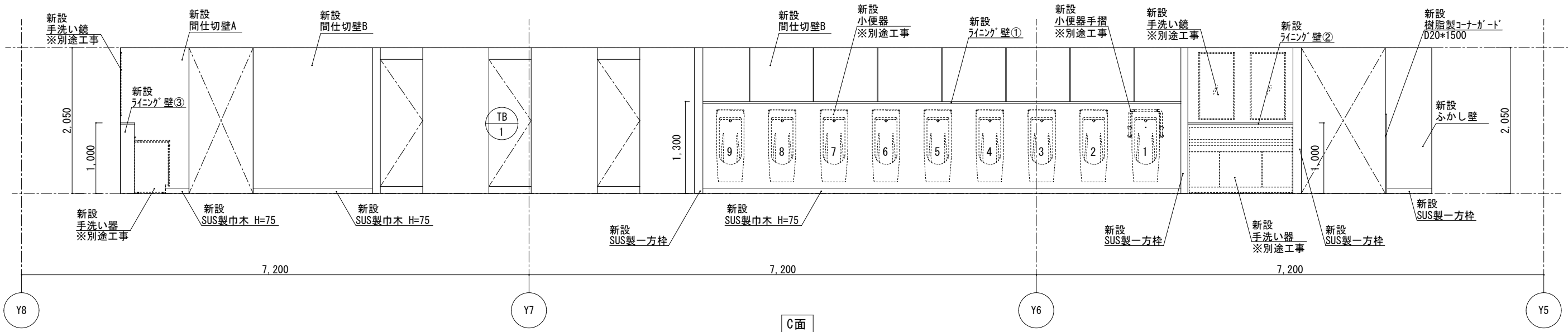
男子便所



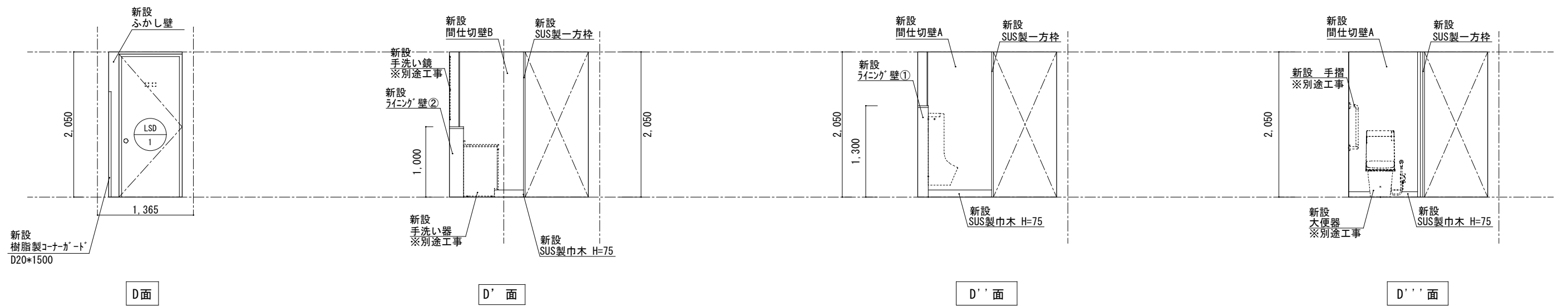
男子便所



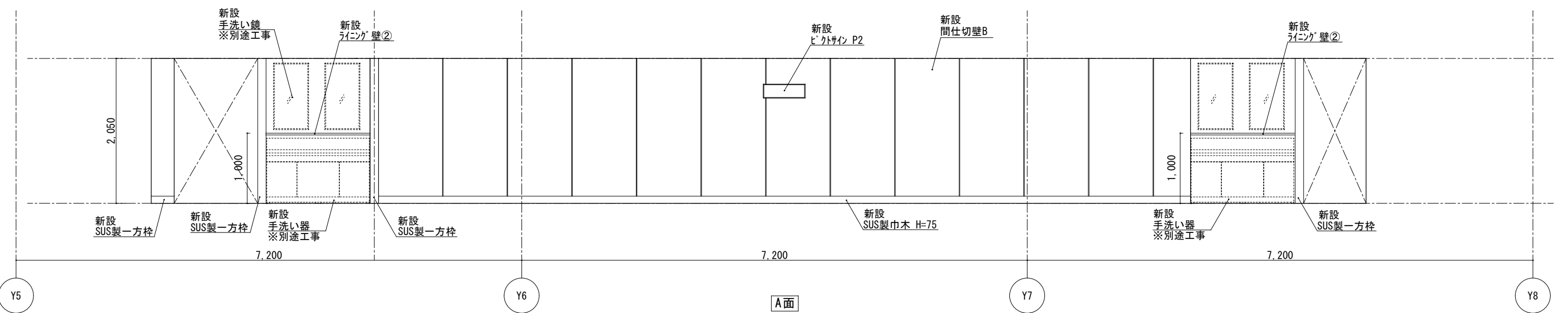
S K



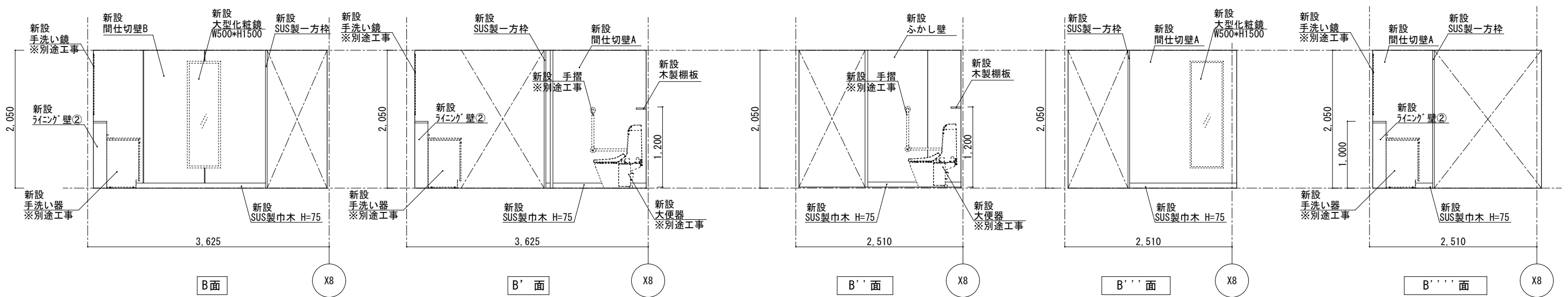
男子便所



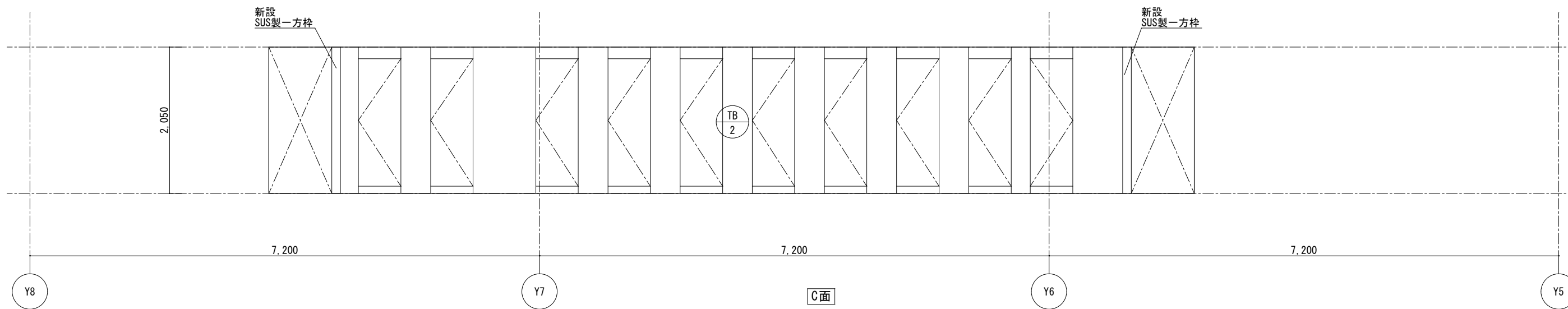
女子便所



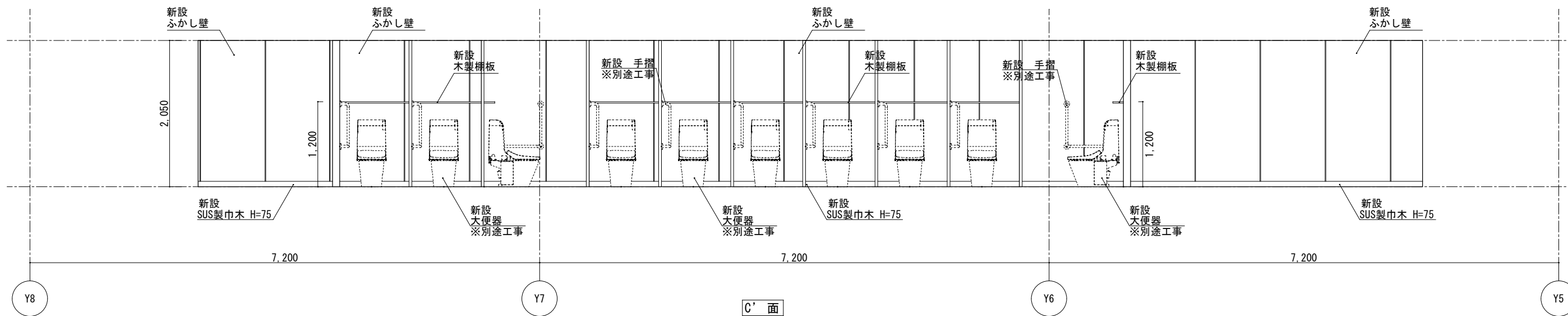
女子便所



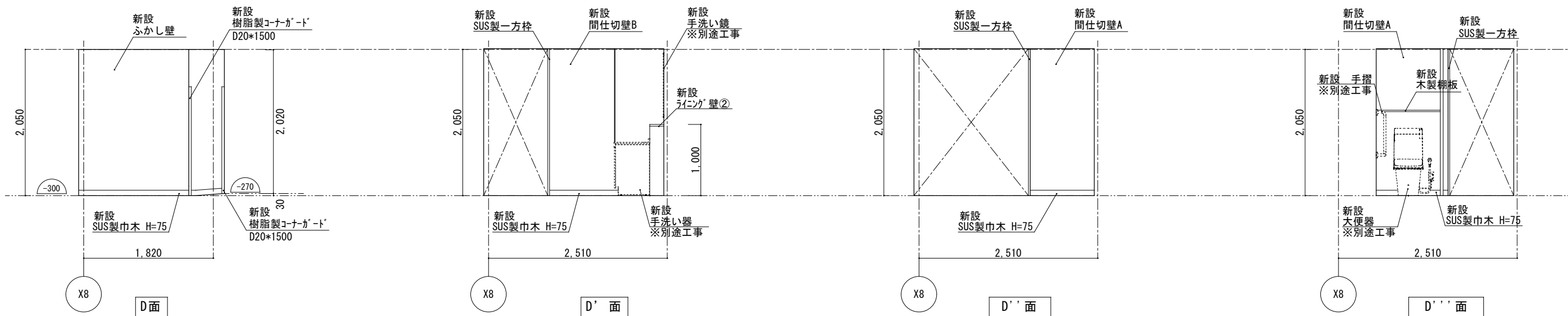
女子便所



女子便所

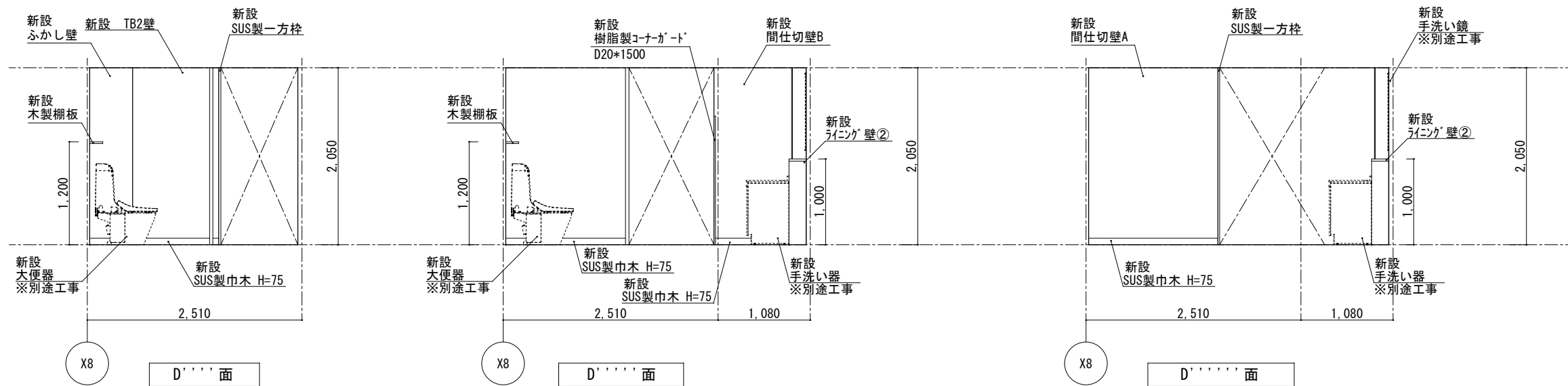


女子便所

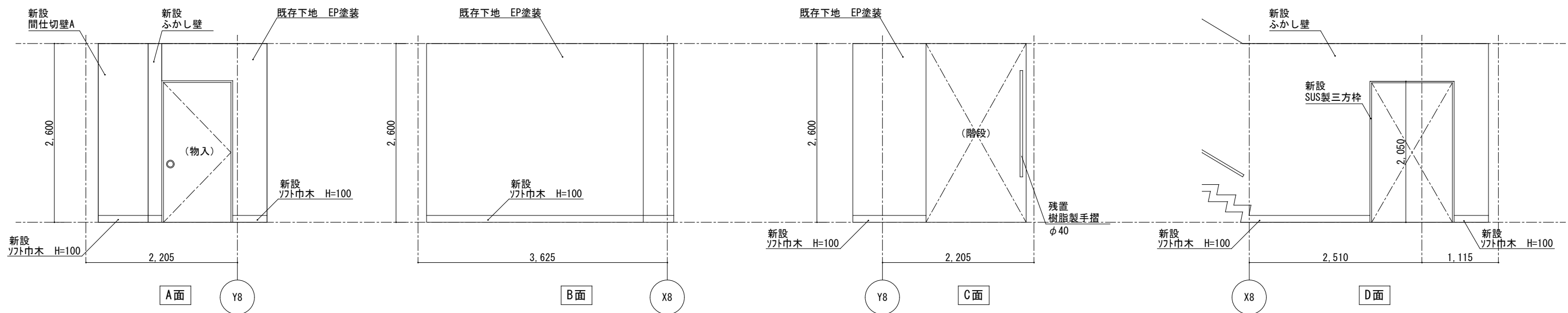




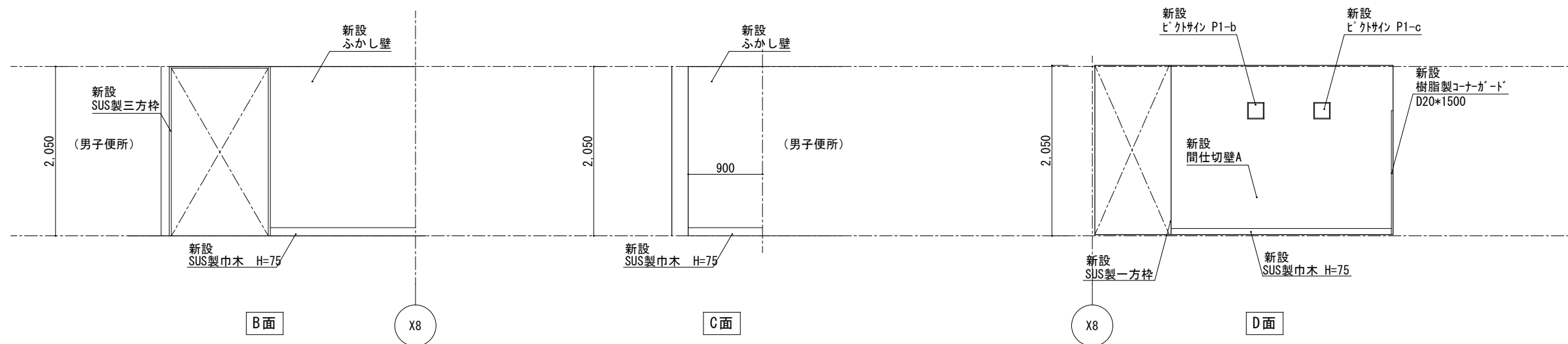
女子便所



踊場

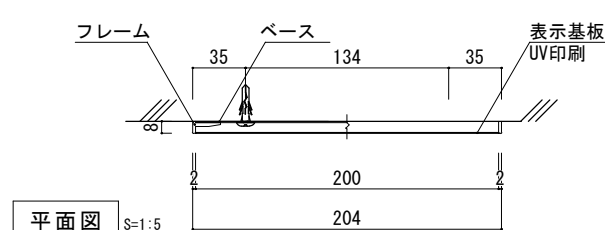


通路 2

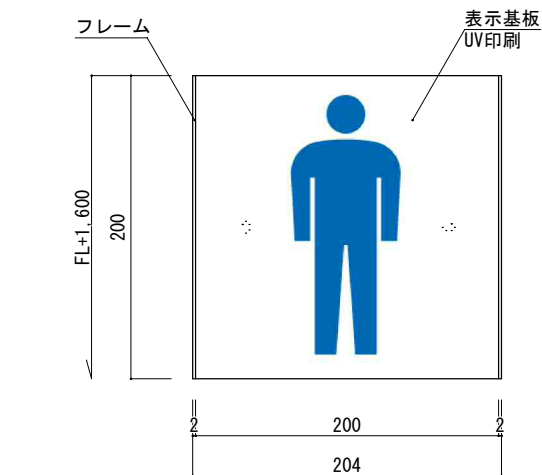


P1 壁付けプレート（正面型）

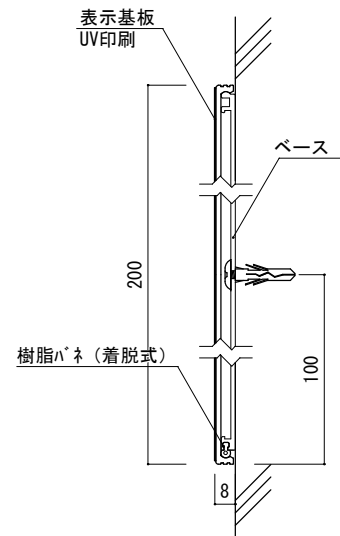
7箇所



平面図 S=1:5



正面図 S=1:5



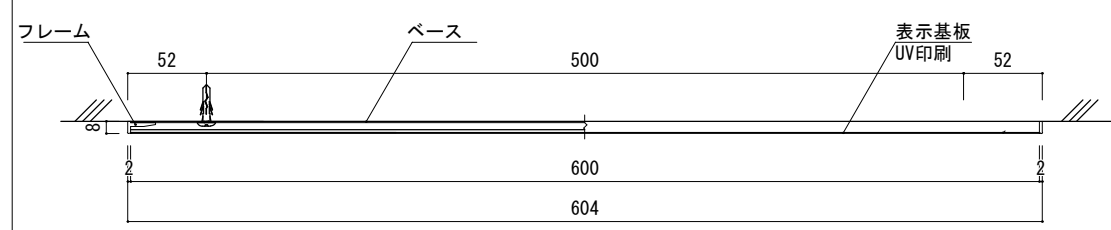
側面図 S=1:3

【特記事項】  
 フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上  
 ベース：アルミ型材 アルマイト仕上  
 表示基板：ステンレスt0.5 HL仕上  
 表示方法：UV印刷

P1 ピクト数量表		
No.	デザイン	数量
-a		2
-b		2
-c		2
-d		1
備考	デザインはJIS Z8210 色は下記のとおり 赤色：7.5R4/15 青色：2.5PB3.5/10 黒色：N1	

P2 壁付けプレート（正面型）

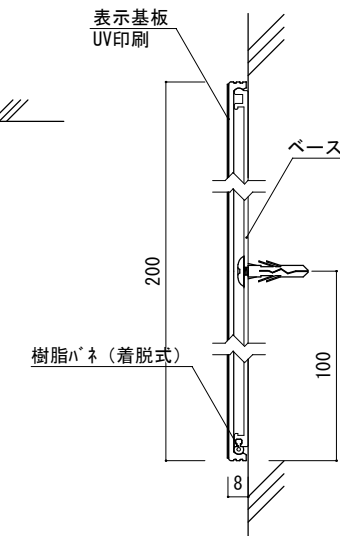
2箇所



平面図 S=1:5



正面図 S=1:5

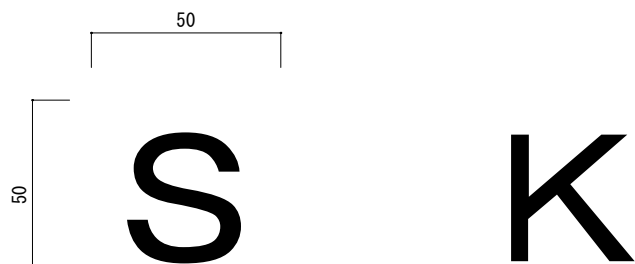


側面図 S=1:3

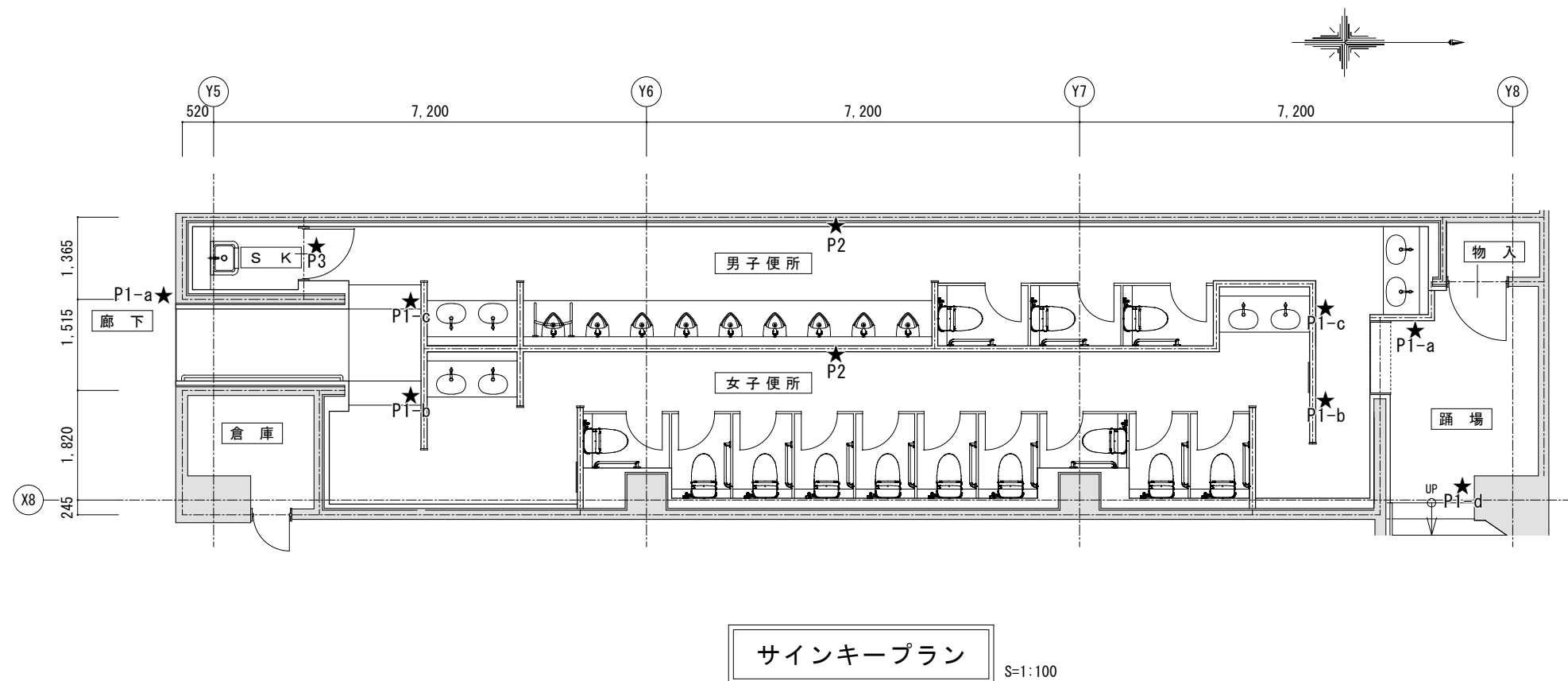
【特記事項】  
 フレーム：アルミ型材 アルマイト仕上  
 ベース：アルミ型材 アルマイト仕上  
 表示基板：ステンレスt0.5 HL仕上  
 表示方法：UV印刷  
 ※ピクトデザインは、JIS Z8210  
 ※表示内容は、監督員の承諾を得る

P3 切り文字

1箇所



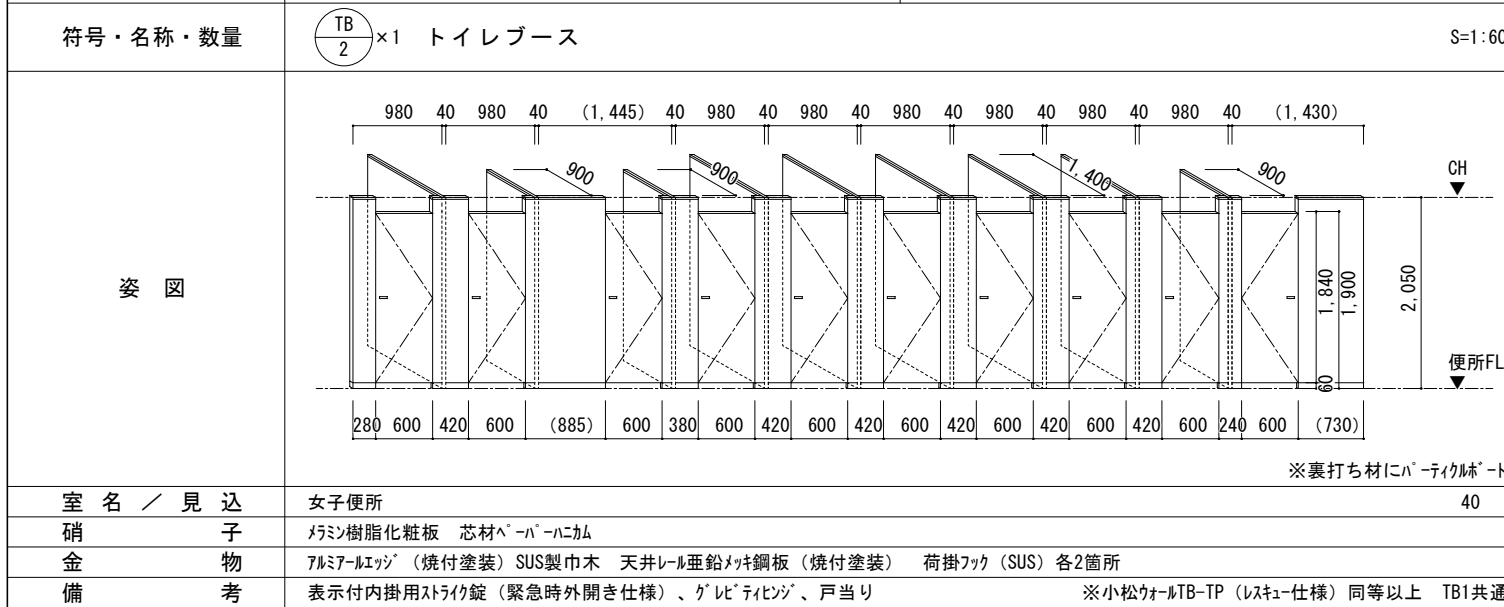
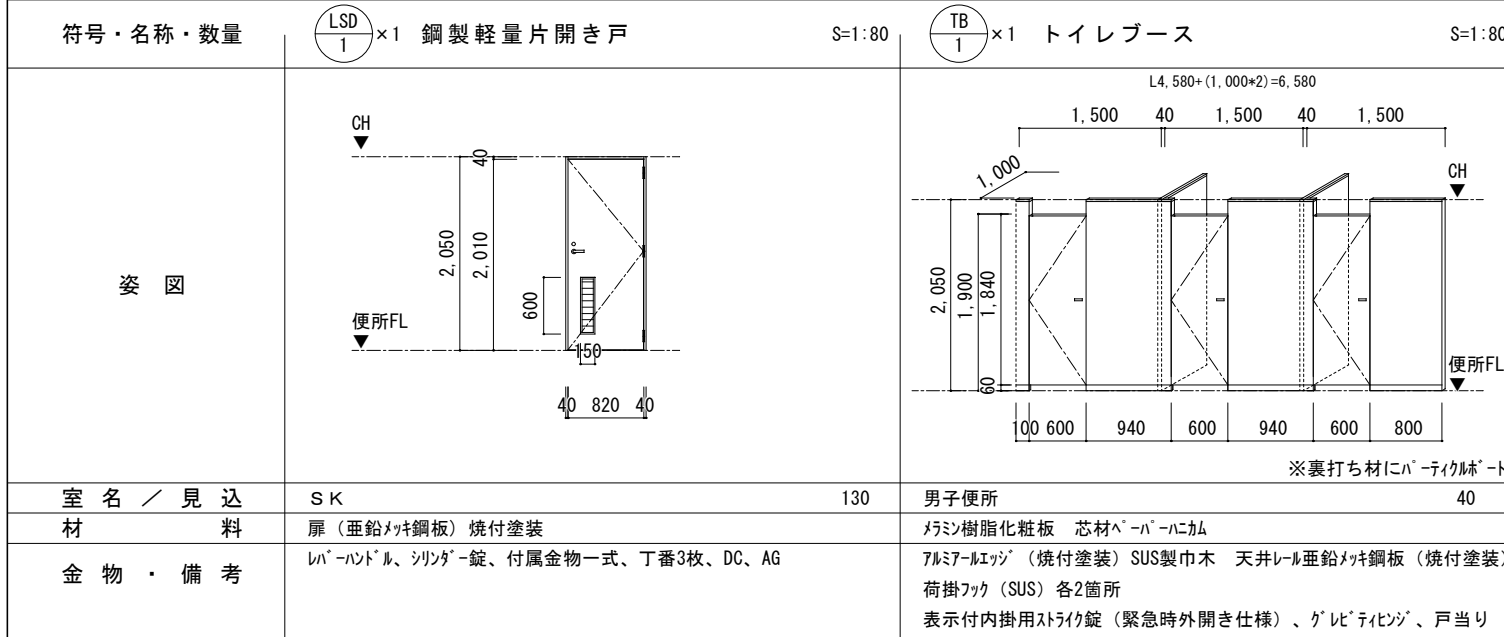
切り文字シート ※建具貼り付け



サインキープラン S=1:100

建具表							
【建具特記事項】							
建具類凡例							
建具類	建具金物類			ガラス類		その他	
WD 木製戸	SS 重量シャッター	DC ドアローザ (ストッパあり)	P フロート板ガラス	ST 鋼製			
SD 鋼製戸	LS 軽量シャッター	FH フロアヒンジ	F 型板ガラス	SUS ステンレス製			
LD 鋼製軽量戸	OHD オートヘッドドア	LH ライトリーディング	NF 網入型板ガラス	AL アルミ製			
SSD ステンレス製戸		PH ヒートヒンジ	WF 線入型ガラス				
AD アルミ製戸	EOS 電動オートスライダ	HC ヒンジローザ	NP 網入磨き板ガラス	AT 完全アタイト			
PD 樹脂製戸	ES 電動シャッター		WP 線入磨き板ガラス	SAT セミアタイト			
WW 木製窓	ELS 電動軽量シャッター		L 合わせガラス	FUE フッ素樹脂塗装 (DP1)			
SW 鋼製窓	WG 木製がらり		T 学校用強化ガラス				
SSW ステンレス製窓	SG 鋼製がらり		FT 学校用型板強化ガラス				
AW アルミ製窓	AG アルミ製がらり		A 複層ガラス空気層				
PW 樹脂製窓	H ふすま		HAP 熱線吸収フロート板ガラス				
SP 学校用スチール間仕切り	AP アルミ製パネル		HANP 熱線吸収網入磨き板ガラス				
PT 目隠しパーティション	ACW アルミ製カーテンウォール		HAWP 熱線吸収線入磨き板ガラス				
			IG 複層ガラス				

- 【特記事項】
- 建具の製作に先立ち、施工図を作成し監督員の承諾を得ること。
  - 金物・硝子・その他必要と思われるものは、見本品を提出し監督員の承諾を得ること。
  - 特記なき限り金物は、全てSUS304 (t2.0)、HL仕上とする。
  - 硝子押えは、シリコンシリカ (1成分形) とする。
  - DCは、防火設備を除き、特記なき限りストッパ付とする。
  - 二重水切りの端部は、小口プレート当てとする。
- アルミ額縁 (下端) は、全て結露受けとする。
  - アルミパネルは、断熱パネル (H-2) とする。
  - ガラスの有効開口面積は、全て開口率を踏まえて計算し、監督員の承諾を得ること。
  - スチール建具の枠は、特記なき限りt2.3とする。
  - 扉等の戸当りの設置の有無及び位置については、監督員の指示による。
  - 施錠箇所は、マスターキー付とする。



設計監理 大垣市都市計画部建築課 ARCHITECTURE DIVISION OKAZAKI CITY HALL

工事名称 (ゼロ債務)文化会館 ホール東側便所改修(建築)工事

図名 建具表・部分詳細図

縮尺 図番 025

